

第2次春日部市総合振興計画

重点プロジェクト

《まちの拠点整備・経済発展プロジェクト》

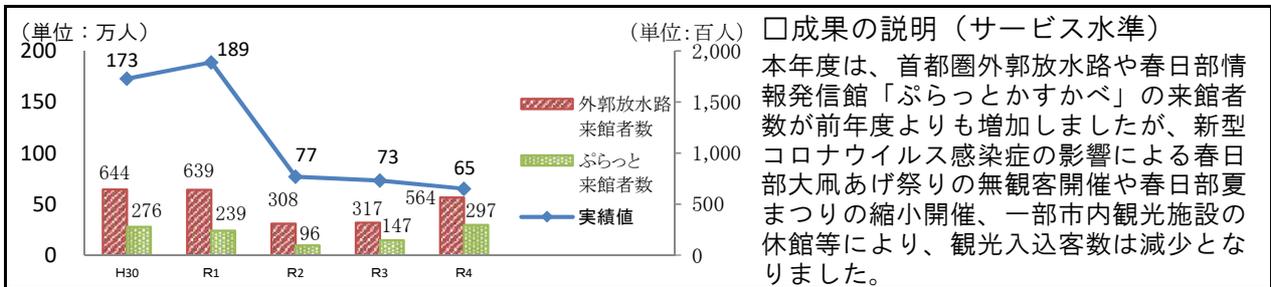
進捗管理シート

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

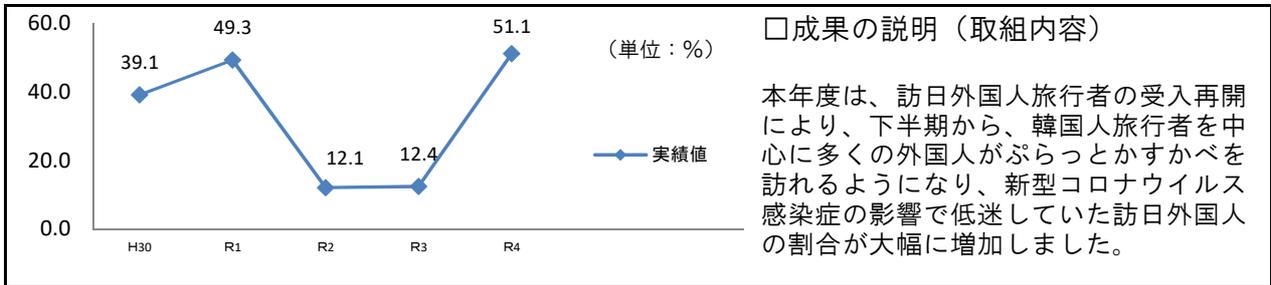
施策番号	5-1-1	実施計画No.	112	重点プロジェクトNo.	②-54	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	観光振興事業				課名	観光振興課		
事業内容	既存観光資源の魅力を向上させるとともに、新たな観光資源を創出し、これらの連続性を持たせた観光の推進と魅力の発信をします。				事業開始年度	平成30年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	観光入込客数				現状値 (平成29年度)	1,782,653人		
現状と課題	本市には、「春日部藤まつり」、「春日部夏まつり」、「春日部大風あげ祭り」等の祭りや「首都圏外郭放水路」、「藤花園」、「道の駅「庄和」」、春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」等の施設があります。例年、多くの観光客が訪れ賑わいますが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら事業を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	1,906,000人	1,937,000人	1,968,000人	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	90.6%	97.5%	39.0%	36.5%	32.0%
決算額(千円)	10,162	8,722	42,042	15,096	40,347

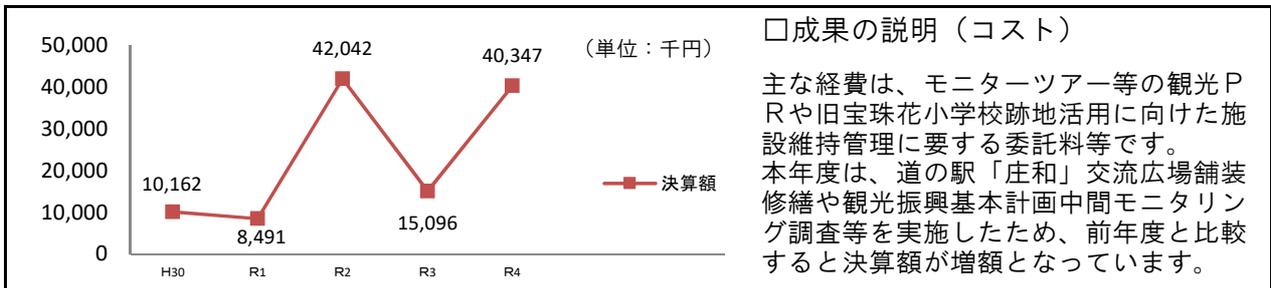
1 観光入込客数



2 ぷらっとかすかべ来館者数に占める訪日外国人の割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による市内イベントの縮小等により観光入込客数が減少していますが、コロナ禍で継続してきたモニターツアーや観光情報の発信等の成果もあり、首都圏外郭放水路や春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」の来館者数と、訪日外国人の割合は増加しました。	
今後の方向性	現状維持	（一社）春日部市観光協会とともに、観光関連事業者・団体、市民等と連携しながら各種の観光事業に取り組むことで、引き続き、観光推進体制の強化を図ります。また、そのような連携を活用しながら、観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を行い、魅力を発信していくことで、新型コロナウイルス感染症の収束後における市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

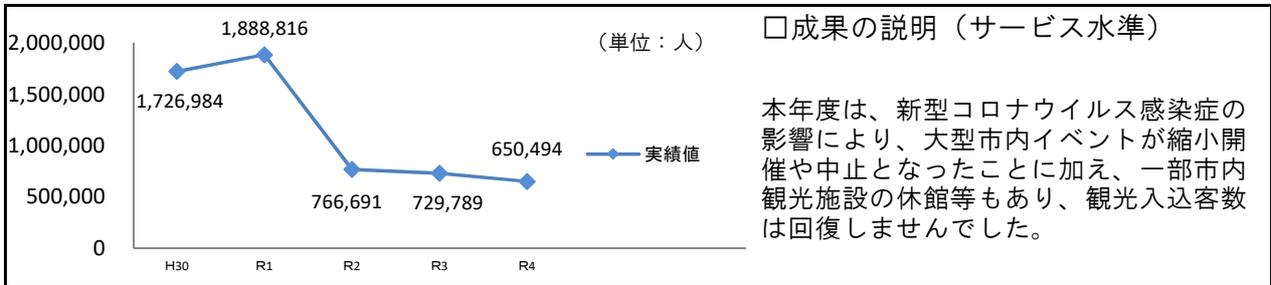
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

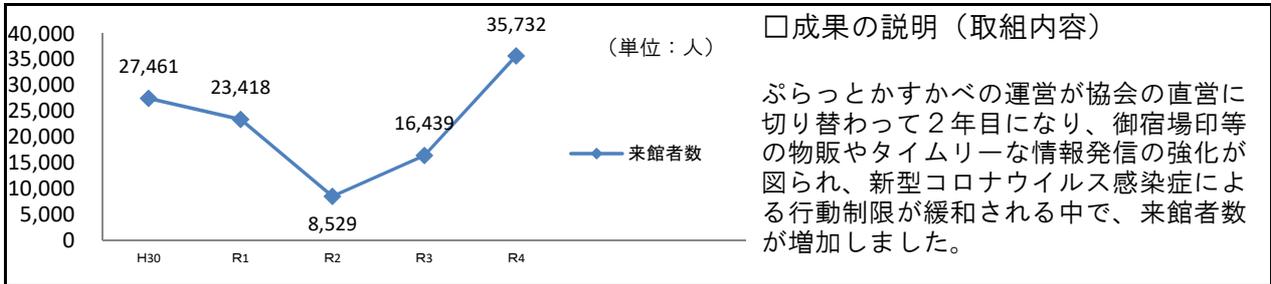
施策番号	5-1-1	実施計画No.	117	重点プロジェクトNo.	②-55	-	補助金No.	60
事業名 (補助金名)	観光協会補助金					課名	観光振興課	
事業内容	観光客とともに地域の魅力や豊かさを実感できる観光地の実現のため、一般社団法人春日部市観光協会に補助金を交付し、協会の組織及び機能のより一層の充実・強化を図ります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	観光入込客数					現状値 (平成29年度)	1,782,653人	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響による訪日外国人の入国制限が緩和され、海外からの観光入込客数が増加し続けています。国内の規制も緩和されたので、一般社団法人春日部市観光協会と協力し、観光資源の磨き上げや観光客受入体制の整備等を進めていくことが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	1,999,000人	2,030,000人
成果指標の実績値	1,726,984人	1,888,816人	766,691人	729,789人	650,494人
達成率	—	—	—	36.5%	32.0%
決算額(千円)	—	—	—	38,131	40,750

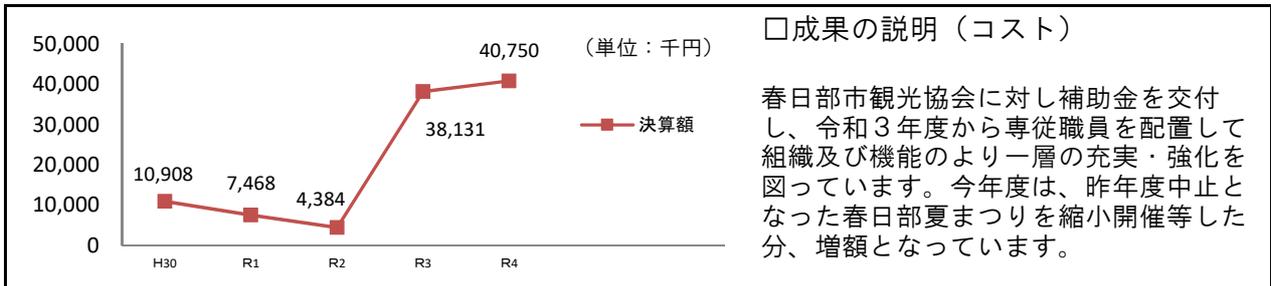
1 観光入込客数



2 「ぶらっとかすかべ」来館者数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	3年ぶりに春日部夏まつりを縮小開催して御輿の展示を行い、地域の活性化を図ることができました。また、市内事業者や関連団体等との連携を図りながら、春日部駅周辺のグルメマップの発行やスタンプラリーなどを行い、観光客が市内の様々なスポットに立ち寄る仕組みの構築を進めることで、「観光まちづくり」への機運醸成が図られました。	
今後の方向性	現状維持	状況の変化に柔軟に対応しやすい一般社団法人春日部市観光協会との連携強化を図りながら、引き続き、観光資源の磨き上げや、観光客受入体制の整備を進め、魅力を発信していくことで、市内観光の早期回復と地域経済の活性化を図ります。

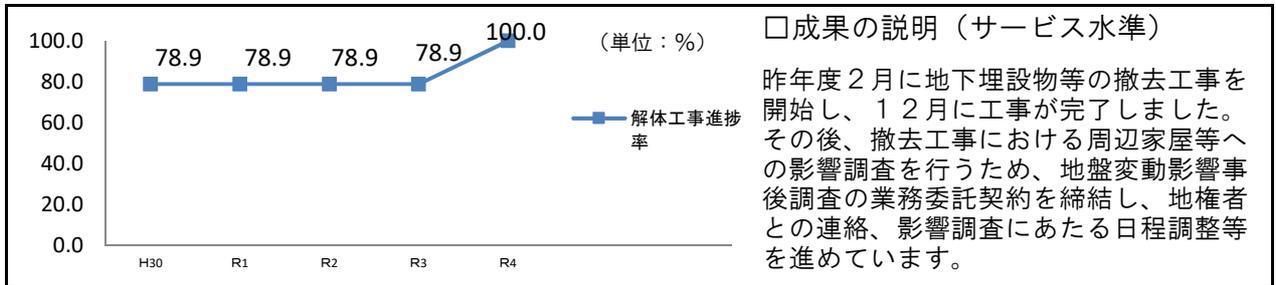
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

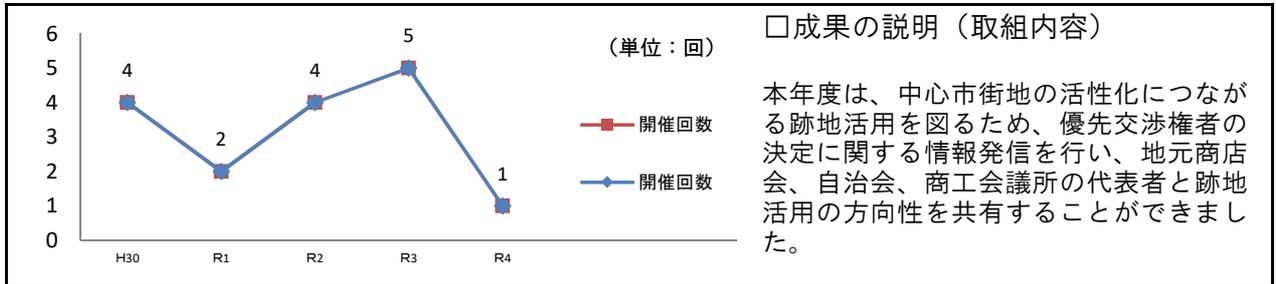
施策番号	5-1-2	実施計画No.	118	重点プロジェクトNo.	②-56	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	商工振興センター運営事業					課名	商工振興課		
事業内容	平成29年3月31日をもって閉館した春日部市商工振興センターの解体工事を滞りなく進め、中心市街地の活性化につながる跡地の活用を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	解体工事進捗率					現状値 (平成29年度)	0.0%		
現状と課題	本市中心市街地の将来を展望し、春日部駅東口地域をはじめとする市全体のにぎわいの創出、中心市街地の活性化を図るため、市民ニーズを勘案しながら、将来の行政需要を見極め、貴重な財源を効果的に活用した跡地活用を図っていく必要があります。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	100.0%
達成率	78.9%	78.9%	78.9%	78.9%	100.0%
決算額(千円)	168,772	20,213	10,699	3,055	132,888

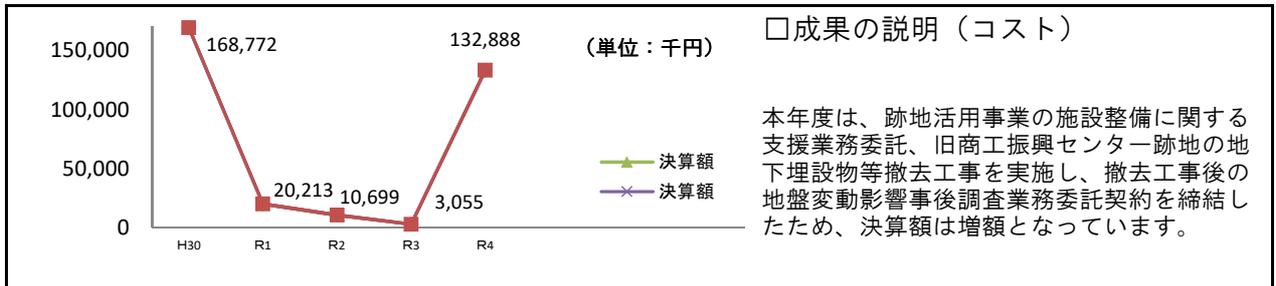
1 解体工事進捗率



2 跡地活用懇談会の開催回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、地下埋設物等の撤去工事が完了し、地盤変動影響事後調査業務委託契約の締結まで進めることができました。 工事や調査については、案内文等で適宜周辺住民への周知を行い、また、優先交渉権者を招き、地元商店会、自治会、商工会議所代表者に向けて、跡地活用に関する情報の共有を行いました。	
今後の 方向性	現状維持	地盤変動影響事後調査終了後、調査結果をもとに、復旧費積算及び費用負担説明業務、補償金の支払い等を進めていきます。 跡地活用事業については、事業者へ土地の引渡し、建設工事等に向け、引き続き事業者との協議を進めていきます。

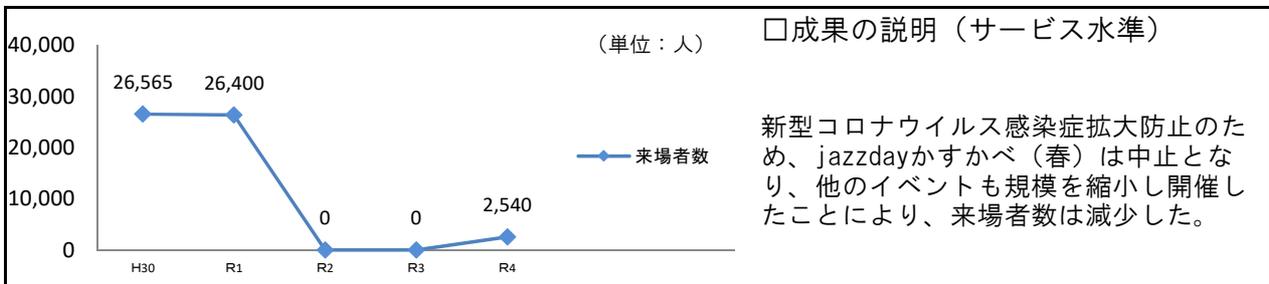
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

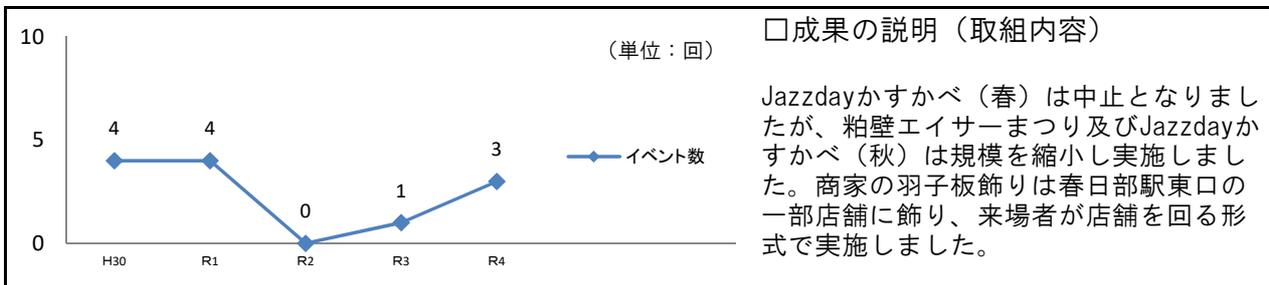
施策番号	5-1-2	実施計画No.	119	重点プロジェクトNo.	②-57	-	補助金No.	56
事業名 (補助金名)	商工会議所補助金					課名	商工振興課	
事業内容	地域商工業の総合的な改善・発達及び地域振興を図るため、春日部商工会議所が実施する、TMO事業、小規模事業推進事業、商工まつり等の各種事業に対し、補助するものです。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	イベントの来場者数（ジャズデイかすかべ、粕壁エイサーまつり、かすかべ音楽祭「まちかどコンサート」）					現状値 (令和元年度)	26,750人	
現状と課題	令和2年度から新型コロナウイルス感染症でイベントが中止となっていました。感染対策を講じながら一部のイベント等を2年ぶりに開催しました。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	—	—	28,000人	28,500人
成果指標の実績値	—	—	—	—	2,540人
達成率	—	—	—	—	8.9%
決算額(千円)	—	—	—	25,701	26,494

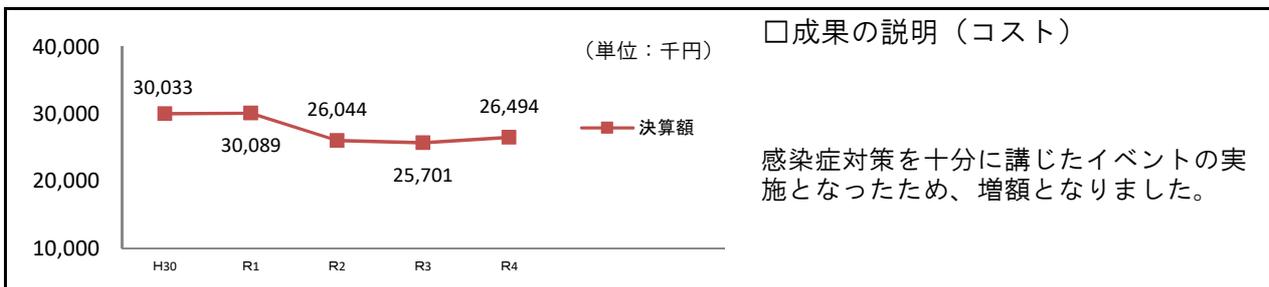
1 イベント来場者数の推移



2 イベント数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の影響で各イベントが中止、規模を縮小しての実施となりました。感染症対策を講じながら中心市街地への回遊性を高め、継続した賑わいにつなげていく必要があります。	
今後の 方向性	現状維持	各イベントの賑わいを中心市街地の活性化につなげられるよう、共催する春日部商工会議所や春日部TMOとアフターコロナにおけるイベントの開催方法や周知方法について協議するなど、連携を強化します。

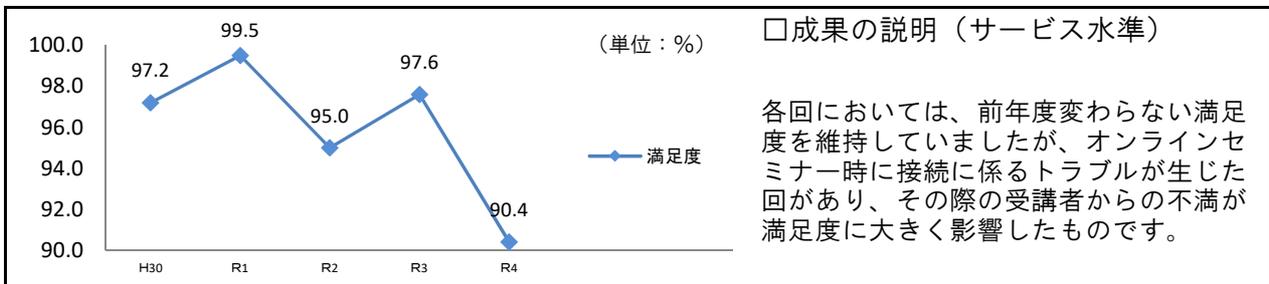
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

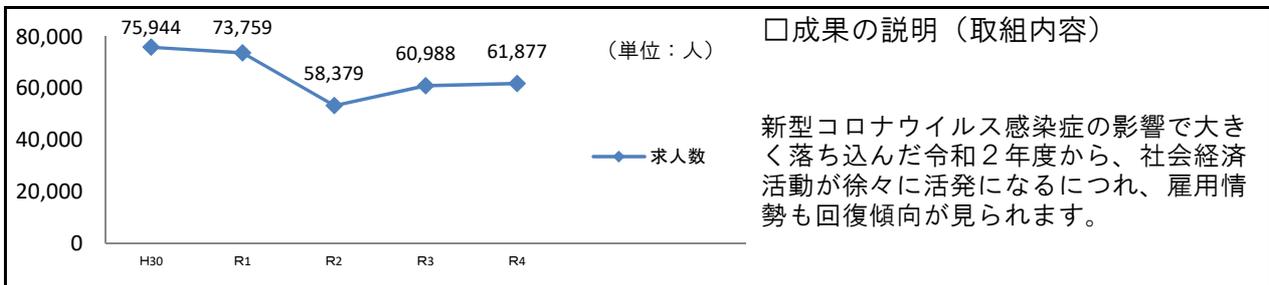
施策番号	5-2-1	実施計画No.	120	重点プロジェクトNo.	②-58	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域連携就労支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	地域産業の理解を深め、市内中小企業の人材確保のため、就職活動中の若者や中高年、女性など、対象者の特色を踏まえたセミナー等を行うとともに、働く現場や働く人の声を聞く機会を提供します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	就職支援セミナー参加者の満足度					現状値 (平成29年度)	99.0%	
現状と課題	コロナ禍により実施したオンラインセミナーも軌道に乗り、安定した開催と受講者数を維持していますが、若年層の受講者が少ないことから、あらゆる年代のニーズの把握に努めるとともにテーマ設定に重点を置く必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	95.9%	96.1%	96.3%	96.5%	96.7%
成果指標の実績値	97.2%	99.5%	95.0%	97.6%	90.4%
達成率	101.4%	103.5%	98.7%	101.1%	93.5%
決算額(千円)	1,013	772	19	246	451

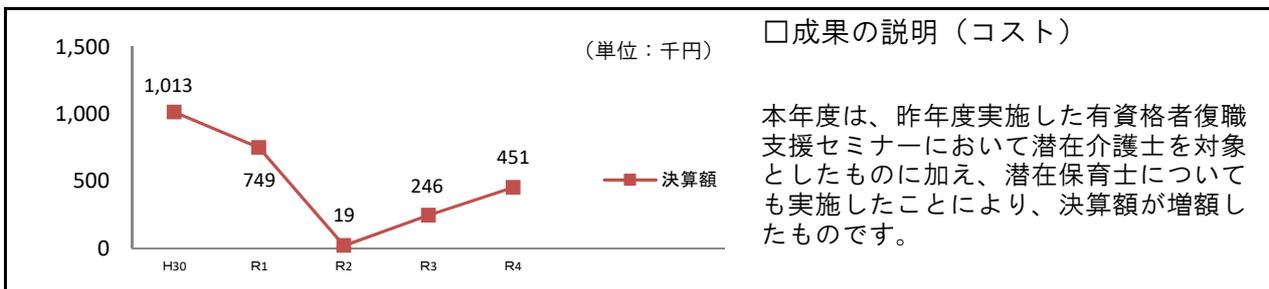
1 就職支援セミナー参加者の満足度



2 求人数（総数）（春日部公共職業安定所）



3 決算額の推移



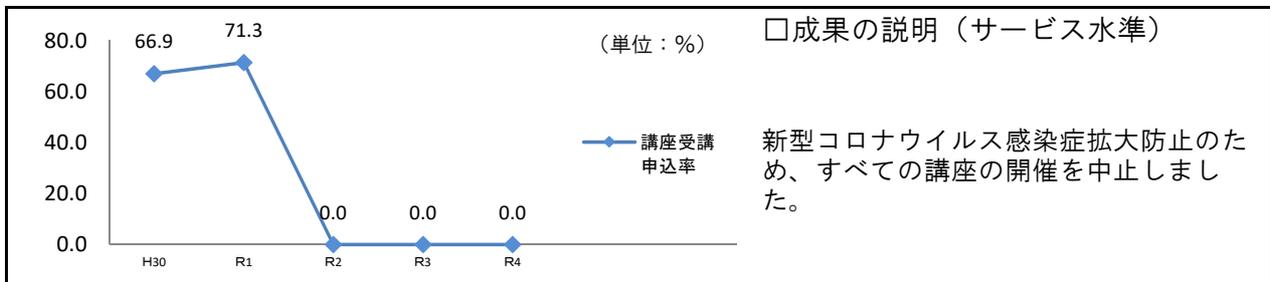
令和4年度の評価	新型コロナウイルス感染症感染拡大から2年が経ち、経済活動も回復の兆しを見せ始めています。有効求人倍率も上昇傾向に転じています。セミナー満足度に関しましては、目標値に達しなかったものの今後の課題が明確になってきたので、次年度は改善に向け調整を図ります。
今後の方向性	現状維持 引き続き国や県、その他関係機関と連携して各種セミナーを実施し、誰もが個々の事情に応じて働きがいを感じながら能力を発揮できる、また働き続けられる環境づくりへの取組を進めていきます。今後は、アフターコロナの時代において、それぞれのライフステージに応じた多様な働き方に対する支援を行います。

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

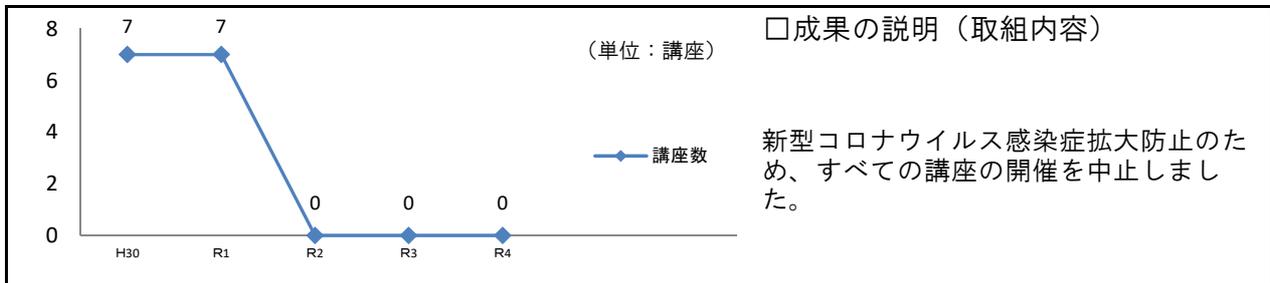
施策番号	5-2-1	実施計画No.	122	重点プロジェクトNo.	②-59	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	勤労者会館運営事業					課名	商工振興課		
事業内容	勤労者及びその家族の教養を高め、勤労者の地位向上及び福祉の増進を図り豊かな人間性を培うため、また就労を支援する講座を実施します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	講座受講申込率					現状値 (平成29年度)	61.3%		
現状と課題	今年度末に迎える勤労者会館の廃館を視野に入れた対応をしつつ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての講座の開催を中止しました。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	63.0%	65.0%	66.0%	68.0%	70.0%
成果指標の実績値	66.9%	71.3%	-	-	-
達成率	106.2%	109.7%	-	-	-
決算額(千円)	770	770	-	-	-

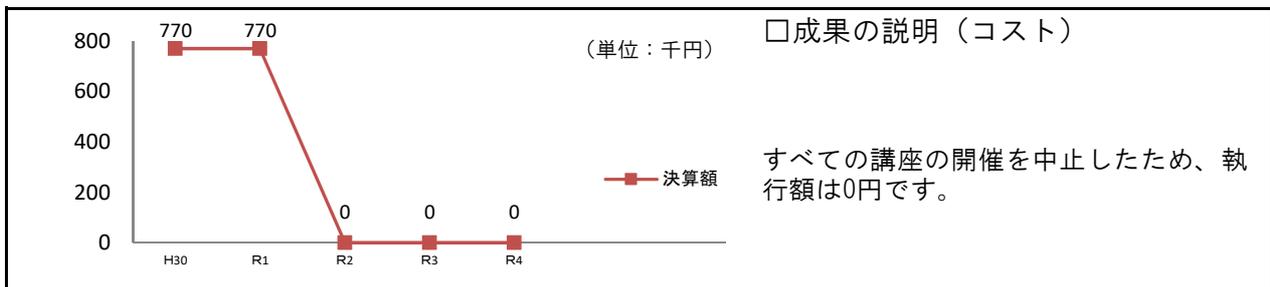
1 講座受講申込率



2 講座数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため貸館を中止したことにより、すべての講座の開催を中止したため、今年度の評価実績はありません。	
今後の 方向性	見直し	令和4年度末で勤労者会館が廃館となることから、今後は勤労者向けの講座等に関しては、県との共催や他の関係機関との共催事業により実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

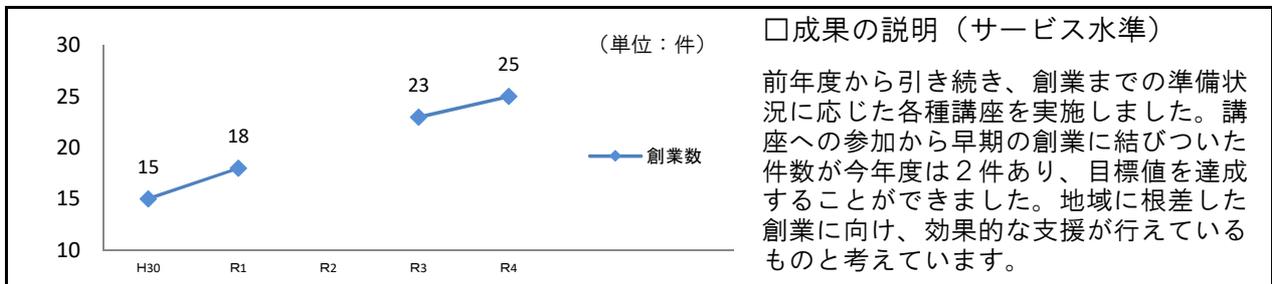
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-2-2	実施計画No.	123	重点プロジェクトNo.	②-60	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	新産業創出支援事業					課名	商工振興課	
事業内容	中小企業者の事業拡大や創業を考えている人材の育成を促進するため、創業に関するセミナーや地域に新しい価値を創造するビジネスプランのコンテストを実施します。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数				現状値 (平成29年度)	11件		
現状と課題	既存産業の構造変化が進む中で新しい産業が期待されています。地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する継続した支援が必要です。							

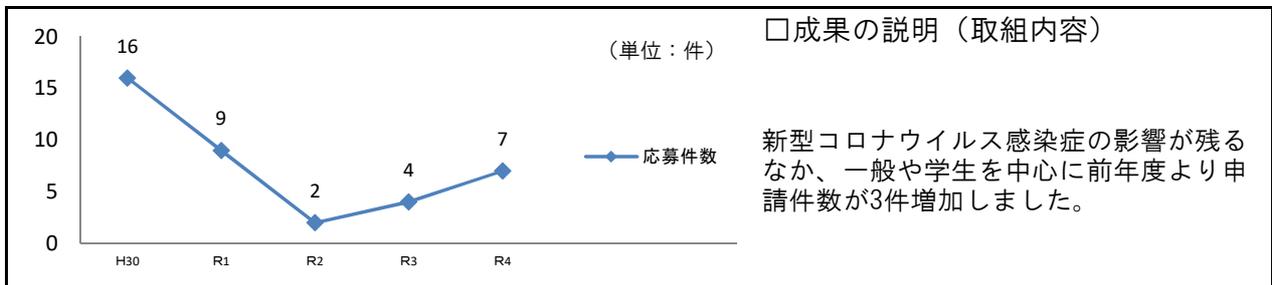
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	10件	12件	14件	16件	18件
成果指標の実績値	15件	18件	-	23件	25件
達成率	150.0%	150.0%	-	143.8%	138.9%
決算額(千円)	253	253	127	287	340

※ 令和3年度の「成果指標の実績値」については、錯誤のため20件から23件へ修正しました。

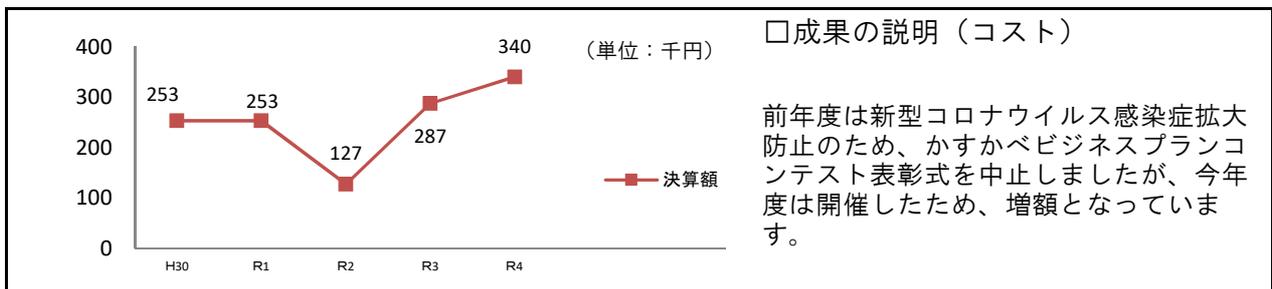
1 市の特定創業支援事業「創業塾」を受けて起業した件数 ※R3の数値について修正あり



2 かすかべビジネスプランコンテスト応募件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から前年度開催を中止していたかすかべビジネスプランコンテスト表彰式について、感染対策を行いながら再開しました。また、昨年度に引き続き、かすかべベンチャー応援補助金の活用対象となる創業者を募集し、新たな地域産業と雇用の創出による地域活性化を図りました。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、地域における新しい価値の創造や雇用の創出を促進するため、地域に根差した創業に対する支援のさらなる充実を図ります。また、セミナーなどについても、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら実施していきます。

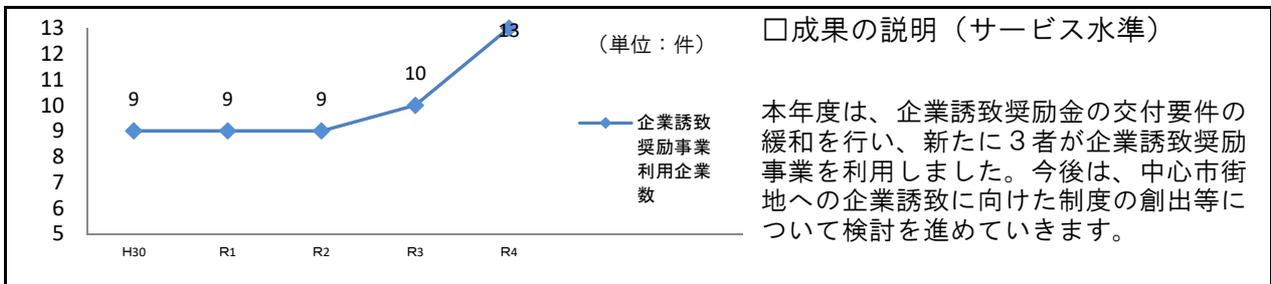
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

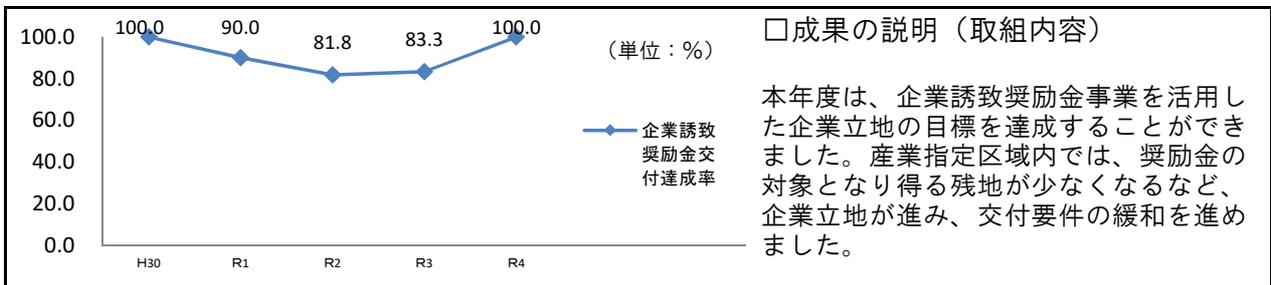
施策番号	5-2-2	実施計画No.	125	重点プロジェクトNo.	②-61	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	企業誘致推進事業					課名	商工振興課	
事業内容	庄和I.C.周辺部を中心とした産業指定区域に工場等を新設する企業に対して奨励措置を講じることにより、企業誘致を推進し、産業の振興および雇用機会の拡大を図ります。					事業開始年度	平成15年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数				現状値 (平成29年度)	9件		
現状と課題	産業指定区域内への企業誘致については、奨励金の対象となり得る残地が少なくなり、企業進出が鈍化しているほか、中心市街地では、事業者の減少傾向が続いています。これらに対応するため、奨励金の交付要件の見直しを行いました。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9件	10件	11件	12件	13件
成果指標の実績値	9件	9件	9件	10件	13件
達成率	100.0%	90.0%	81.8%	83.3%	100.0%
決算額(千円)	17,538	14,747	327	2,317	32,827

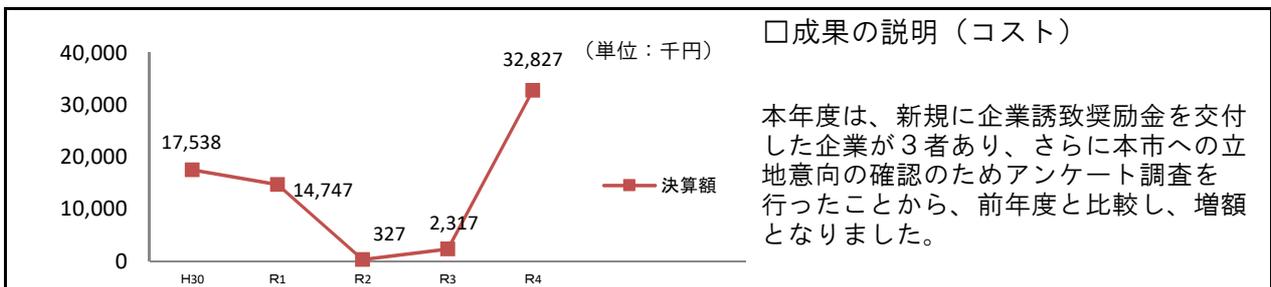
1 企業誘致奨励事業を活用して立地した企業の件数



2 企業誘致奨励金交付達成率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、企業訪問等は実施できませんでしたが、企業誘致奨励金の交付要件緩和を進め、さらなる、産業の振興および雇用機会の拡大を図ることができました。また、さらなる企業立地に向け、昨今の企業活動の変化を捉えるためのアンケート調査を実施するなど、企業誘致事務の推進を図ることができました。	
今後の方向性	拡充	企業誘致奨励金の交付要件緩和を進めることができ、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きつつあることから、次年度は企業訪問を行うことも検討し、企業誘致の推進、産業の振興および雇用機会の拡大を図っていきます。

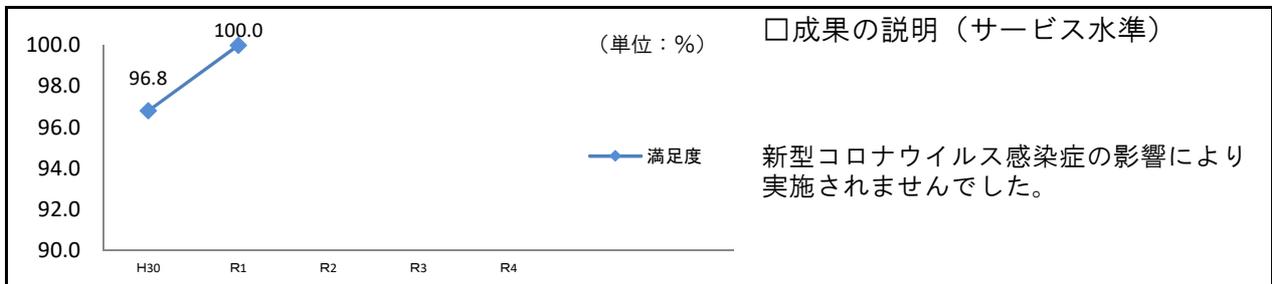
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

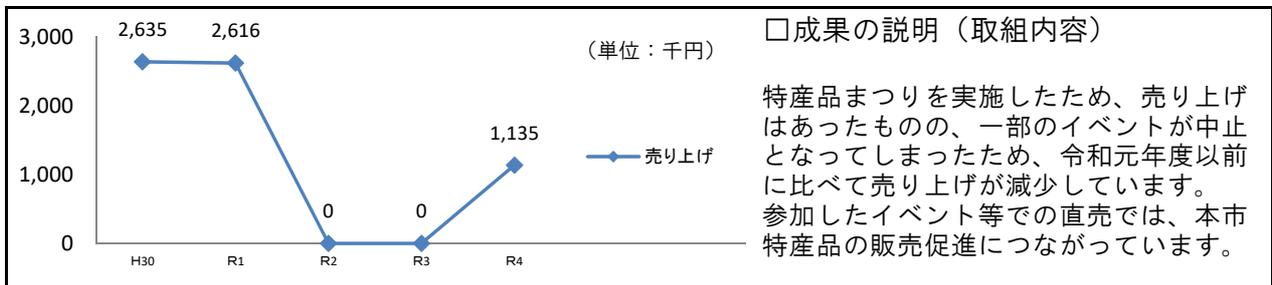
施策番号	5-3-1	実施計画No.	126	重点プロジェクトNo.	②-62	-	補助金No.	51
事業名 (補助金名)	特産品協議会補助金					課名	商工振興課	
事業内容	市内の特産品の普及育成および販路拡大を図るため、春日部市特産品協議会が実施する事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	かすかべ企業シェア研修参加者の満足度				現状値 (平成29年度)	100.0%		
現状と課題	外国人来訪者の増加により、市内特産品への関心が高まっており、外国人をターゲットにしたPRを展開する必要があります。これをターゲットにしたPRにより、特産品の振興・販売促進、経営基盤の強化が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	88.5%	88.9%	89.3%	89.7%	90.0%
成果指標の実績値	96.8%	100.0%	-	-	-
達成率	109.4%	112.5%	-	-	-
決算額(千円)	1,071	1,071	804	95	931

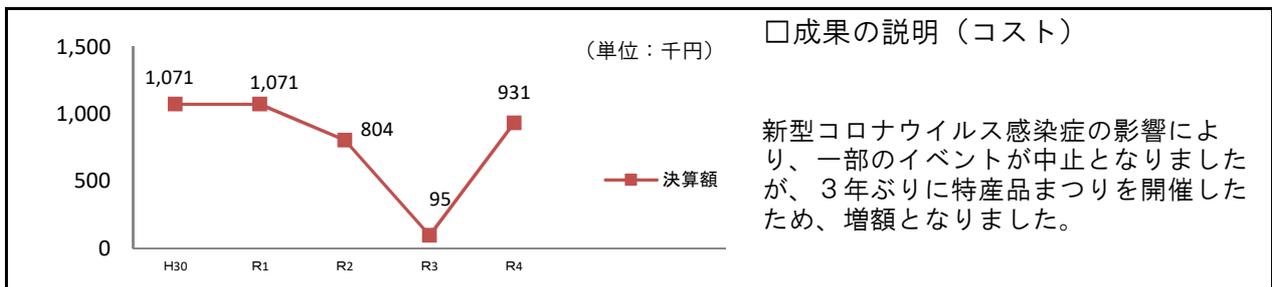
1 かすかべ企業シェア研修参加者の満足度



2 展示会・催事等売り上げ



3 決算額の推移



令和4年度の
評価

イベントの中止により、特産品の売り上げやPRの場が減っていることから、販売促進や新たなPR方法についての検討、支援が必要と考えます。

今後の
方向性

現状維持

引き続き、イベントでの実演販売や物産展示場によるPRに取り組むとともに、同協議会とともに、新たな販路拡大の方法やPR方法について検討します。

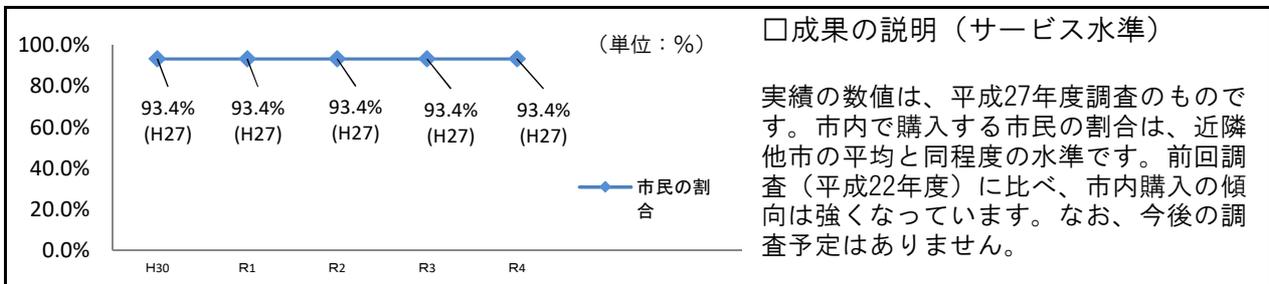
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

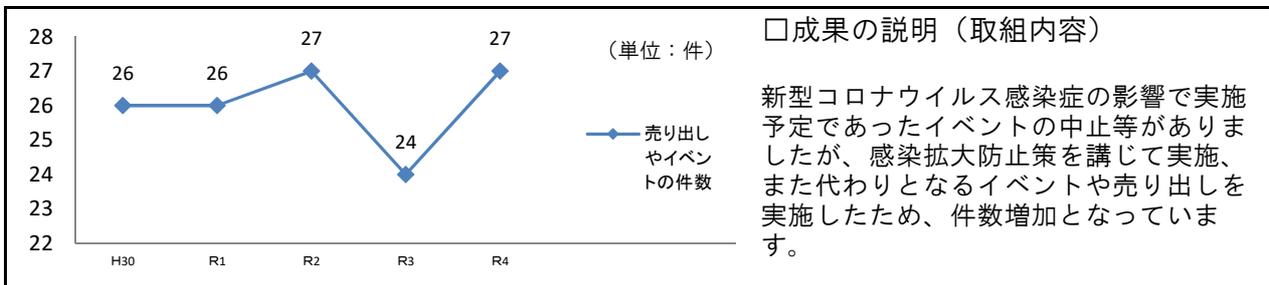
施策番号	5-3-2	実施計画No.	128	重点プロジェクトNo.	②-63	-	補助金No.	52
事業名 (補助金名)	商店街活性化推進事業費補助金					課名	商工振興課	
事業内容	商店街の環境整備および活性化を図るため、各商店街等が実施する共同事業に対し補助を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合 (埼玉県広域消費動向調査)				現状値 (平成29年度)	93.4% (平成27年度)		
現状と課題	地元商店街では、駐車場の整備やバリアフリー化など、安心して買い物を楽しんでもらうための環境づくりが求められています。また、イベント等の開催により、その魅力を発信し、集客を図っていくことも必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	93.4%	93.4%	94.0%	94.0%	94.0%
成果指標の実績値	-	-	-	-	-
達成率	-	-	-	-	-
決算額(千円)	10,162	17,143	7,420	7,531	8,090

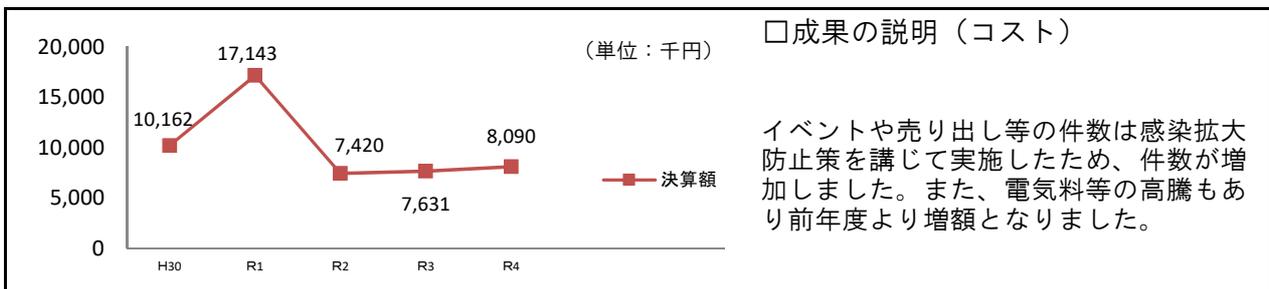
1 食品・飲料や日用・家庭雑貨を主に市内で購入する市民の割合（埼玉県広域消費動向調査）



2 商店街が実施するイベントや売り出しの件数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	各商店会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施予定であったイベントの中止等がありましたが、感染拡大防止策を講じて実施、また代替りとなるイベントや売り出し等の事業を充実してきました。しかし大幅な集客には至っていない現状です。	
今後の方向性	現状維持	昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業等、消費者が安心して利用できるような支援するなど、これからの商店街のあり方を模索し、支援していきます

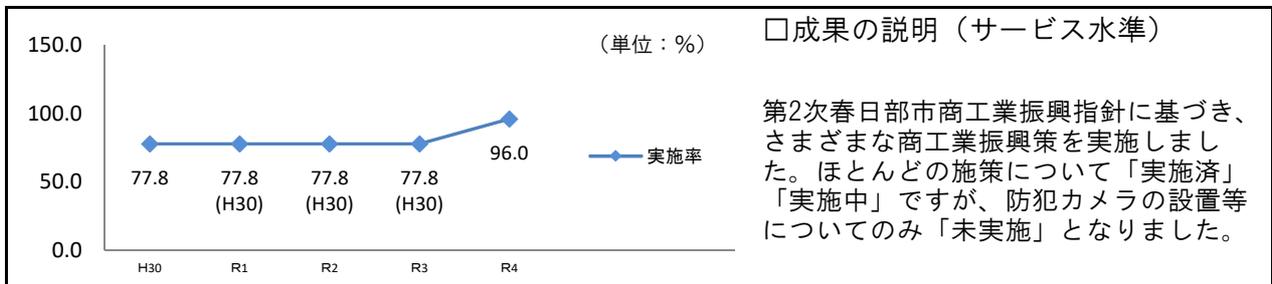
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

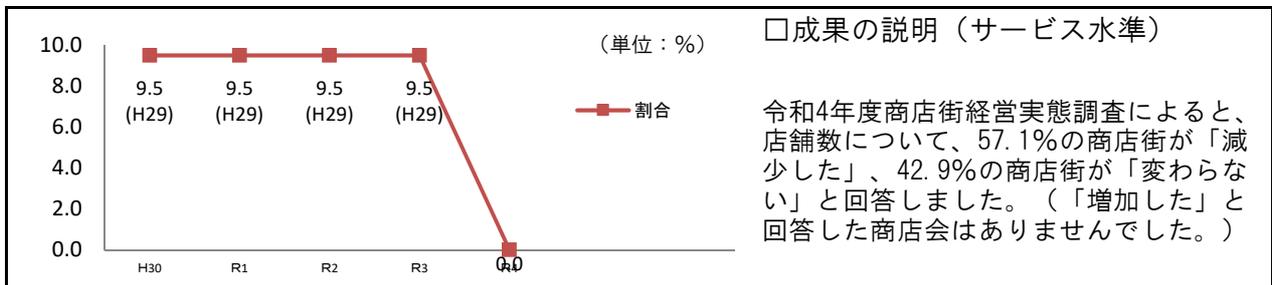
施策番号	5-3-2	実施計画No.	129	重点プロジェクトNo.	②-64	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	商工振興事業				課名	商工振興課		
事業内容	市内商工業の育成と振興を図るため、関係者及び有識者による商工振興委員会において調査・研究を行い、施策に反映させます。				事業開始年度	平成17年度		
					事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	第2次春日部市商工業振興指針施策実施率				現状値 (平成29年度)	—		
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内事業者を取り巻く環境は変化してきています。市内の商工業を支える中小企業・小規模事業者、個人事業者に対する緊急的かつ効果的な支援が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	70.0%	77.5%	85.0%	92.5%	100.0%
成果指標の実績値	77.8%	—	—	—	96.0%
達成率	111.1%	—	—	—	96.0%
決算額(千円)	2,427	780	3,770	283	612

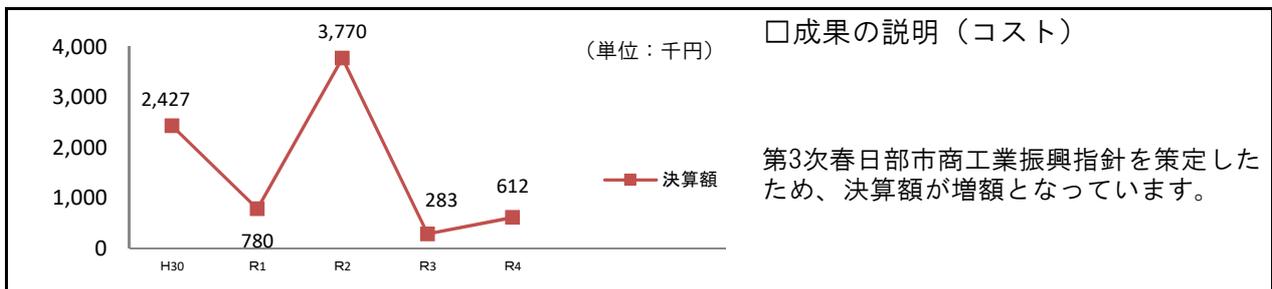
1 第2次春日部市商工業振興指針施策実施率



2 店舗数が増加傾向にある商店街の割合（商店街経営実態調査）



3 決算額の推移



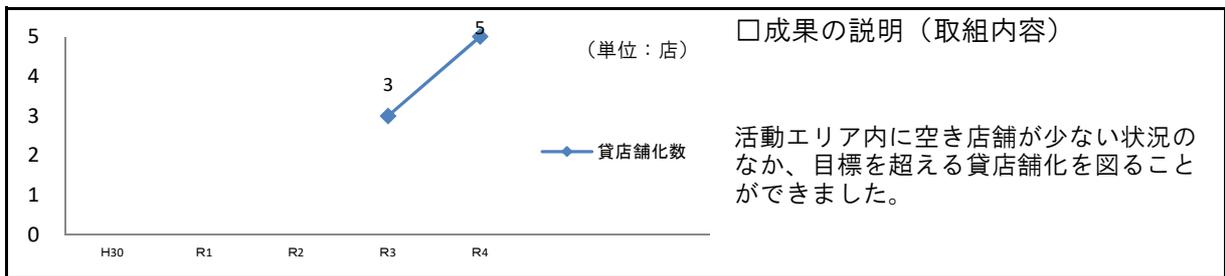
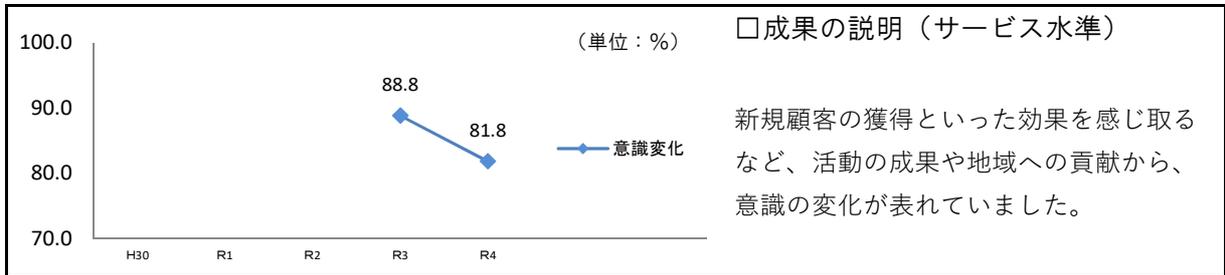
令和4年度の 評価	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、市内の経済活動が著しく停滞する事態に陥り、様々な支援策を実施しましたが、依然として市内の事業者は厳しい状況が続いています。また、その状況を踏まえて第3次春日部市商工業振興指針を策定しました。	
今後の 方向性	現状維持	第3次春日部市商工業振興指針がスタートするため、引き続き、市内商工業の振興に向けた調査・研究を行い、有効な商工業振興施策を実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

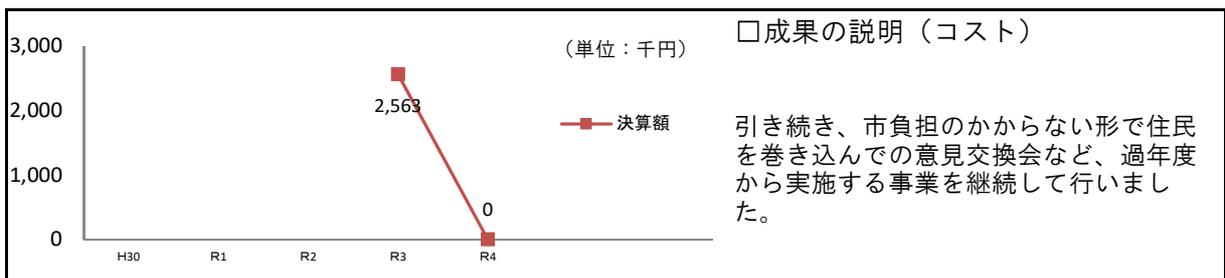
◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

施策番号	5-3-2	実施計画No.	130	重点プロジェクトNo.	②-65	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部市NEXT商店街プロジェクト事業					課名	商工振興課	
事業内容	次世代が誇りを持てる持続可能な商店街を形成することを目的に、危機感が強く意欲の高い商店街に外部専門家を派遣し、商店街の魅力を高めるための取組を支援します。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化					現状値 (令和2年度)	79.0%	
現状と課題	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント等が中止となるなど、計画が一部変更となりましたが、新たな事業の準備を行うなど、積極的な展開が行われました。他の商店街に対し広域的に波及効果がある支援を継続することが必要です。							
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
成果指標の目標値	-	-	-	80.0%	81.0%			
成果指標の実績値	-	-	-	88.8%	81.8%			
達成率	-	-	-	111.0%	101.0%			
決算額(千円)	-	-	-	2,563	-			

1 プロジェクト事業に参加する商業者の意識変化



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	住民との意見交換会や個店のスキルアップにつながる事業を実施し、商店街の事業を展開し波及効果を得るための支援を継続的に行うため、計画立案などの準備を行いました。	
今後の 方向性	現状維持	事業に参加する商店街を募り、専門家の指導・助言を受けながら、人材育成と商店街の魅力を高めていく方法を検討します。

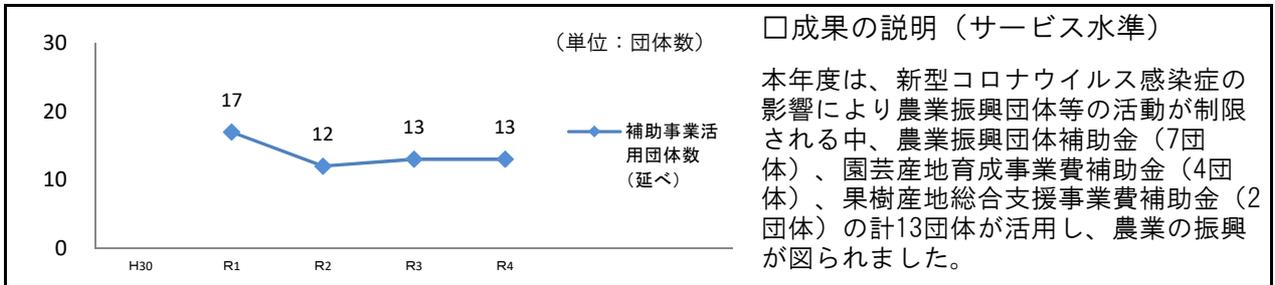
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

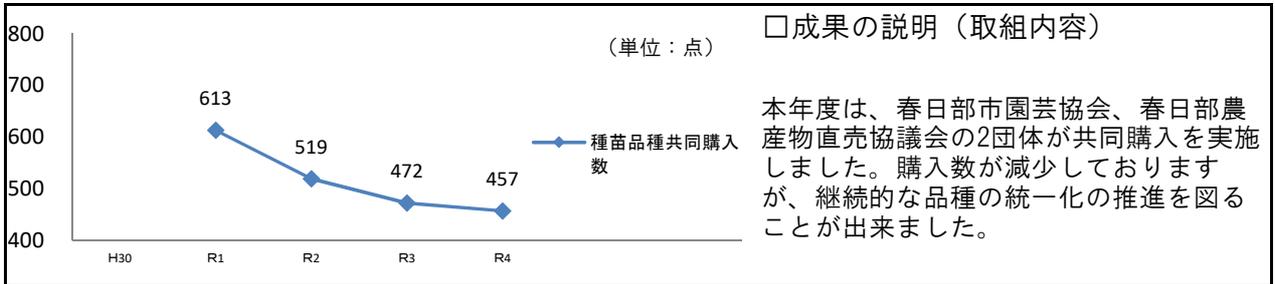
施策番号	5-4-2	実施計画No.	144	重点プロジェクトNo.	②-66	-	補助金No.	64	65	69
事業名 (補助金名)	農業振興団体補助事業					課名	農業振興課			
事業内容	市の農業振興を図るため、市内の農業振興団体が実施する事業に対し、補助金を交付するものです。					事業開始年度	令和元年度			
						事業見直し年度	令和2年度			
成果指標	補助事業活用団体数（延べ）					現状値 (平成30年度)	—			
現状と課題	農業従事者の高齢化や後継者不足などの課題解消や園芸産地育成、果樹産地の振興を図るため、事業への効果的な取り組みを推進していく必要があります。									

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	—	17団体	18団体	19団体	20団体
成果指標の実績値	—	17団体	12団体	13団体	13団体
達成率	—	100.0%	66.7%	68.4%	65.0%
決算額(千円)	—	4,900	4,716	4,424	5,278

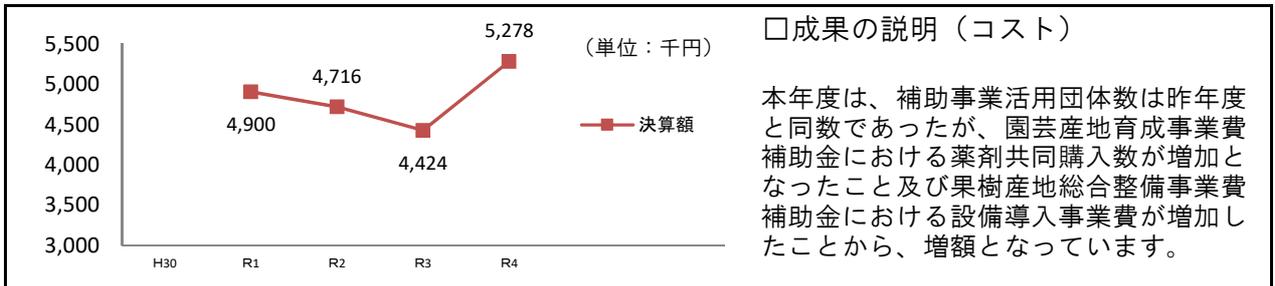
1 補助事業活用団体数（延べ）



2 種苗品種共同購入数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各農業振興団体とも活動が制限されましたが、前年度と同程度の事業数を維持でき、可能な範囲での活動が行われたことで、補助事業の活用につながったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、団体活動の活発化が見込まれることから、今後更に農業振興団体と連携を図りながら、継続的に支援し、農業振興を推進していきます。

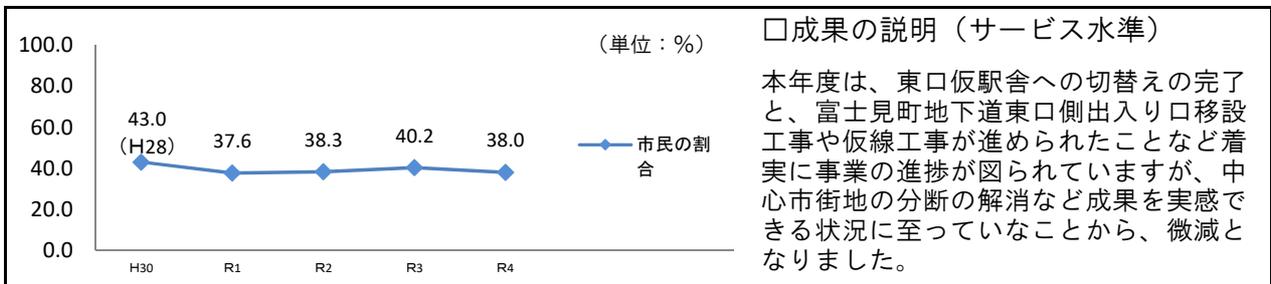
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

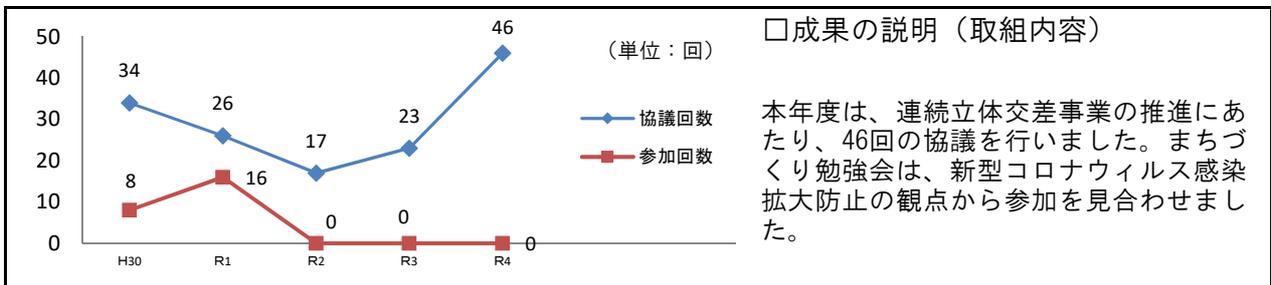
施策番号	6-1-1	実施計画No.	145	重点プロジェクトNo.	②-67	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	連続立体交差推進事業					課名	鉄道高架推進課	
事業内容	春日部駅周辺にある多数の踏切を除却し、交通渋滞、踏切事故などを解消し分断されている市街地を一体化して、住民や来街者の利便性を高め、中心市街地の活性化を図ります。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)	
現状と課題	中心市街地が鉄道で東西に分断されているという街の構造を解消するため、現在、事業主体の埼玉県が進めている連続立体交差事業の早期完成と、連続立体交差事業と一体となったまちづくりに取り組み、中心市街地が抱える様々な問題を抜本的に解決する必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%
成果指標の実績値	-	37.6%	38.3%	40.2%	38.0%
達成率	-	83.6%	81.5%	82.0%	74.5%
決算額(千円)	6,291	177,550	803,870	579,463	660,761

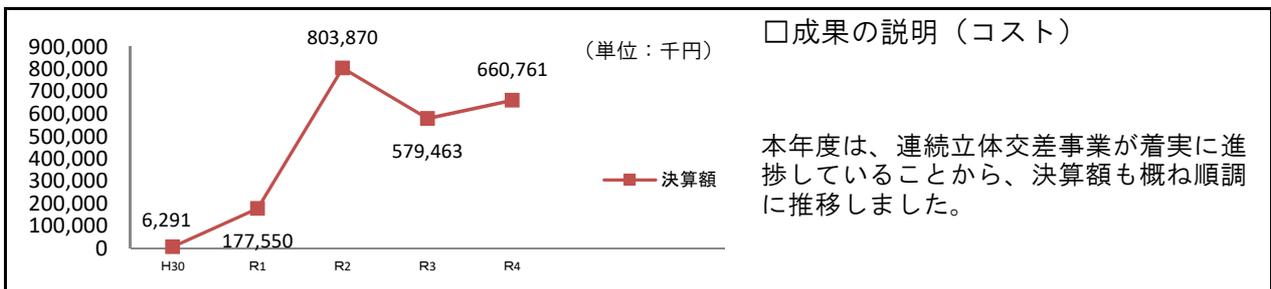
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 関係機関（国、県、鉄道事業者）との協議回数とまちづくり勉強会への参加回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は用地取得が進むとともに、県、東武鉄道と連携し、東口仮駅舎への切替えの完了と、富士見町地下道東口側出入り口移設工事や仮線工事が進められたことで、事業の進捗が着実に図られているものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	連続立体交差事業の早期完成に向けて、引き続き関係機関と連携を図りながら、事業用地の取得と、仮ホームや線路の設置に向けた工事に取り組んでいきます。

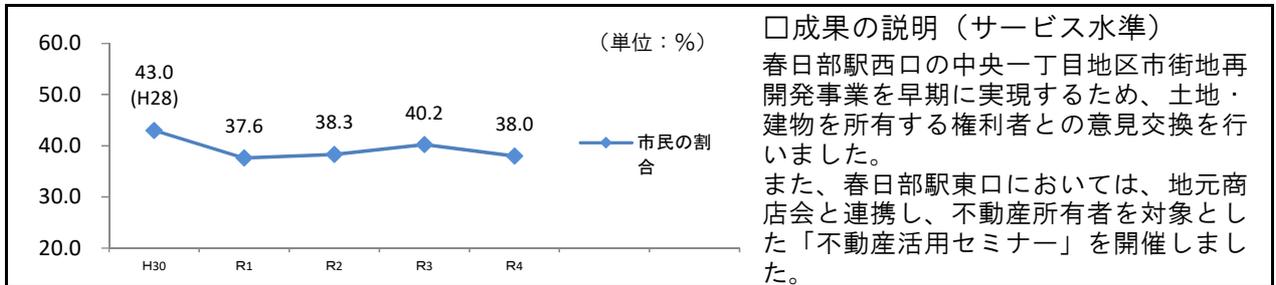
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

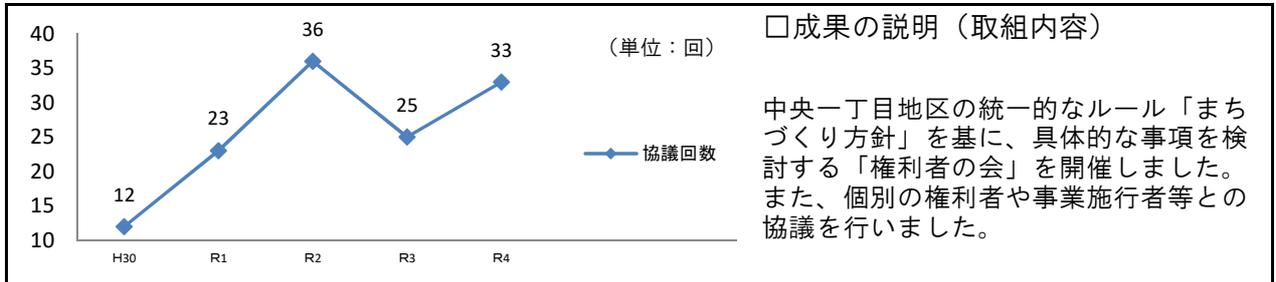
施策番号	6-1-1	実施計画No.	146	重点プロジェクトNo.	②-68	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域整備推進事務					課名	都市計画課	
事業内容	土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、都市基盤施設の整備を行い、中心市街地のにぎわいを創出します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	43.0% (平成28年度)		
現状と課題	春日部駅周辺地区には、老朽化した建物や小規模な店舗が密集した区域があります。連続立体交差事業などの都市基盤整備との連携を図り、地区の特性やニーズに応じた市街地の更新を進め、にぎわいのあるまちづくりに向けた取り組みが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	43.0%	45.0%	47.0%	49.0%	51.0%
成果指標の実績値	-	37.6%	38.3%	40.2%	38.0%
達成率	-	83.6%	81.5%	82.0%	74.5%
決算額(千円)	150	1,913	126	14,841	3,658

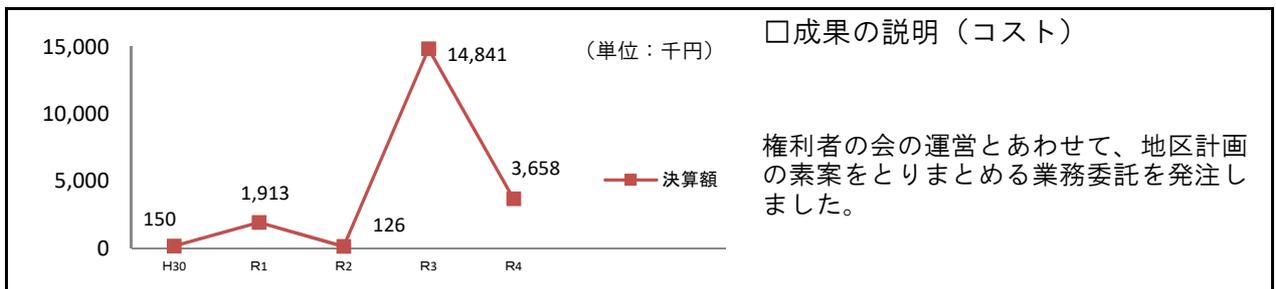
1 春日部駅周辺は、快適で便利だと思う市民の割合（市民意識調査）



2 再開発準備組合（事業施行者）との協議回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	市街地再開発事業を早期に実現するため、「合意が形成されたブロックから段階的に事業を開始する」という方針に沿って、権利者の合意形成に取り組みました。「権利者の会」では、回を重ねるごとに参加者が増え、再開発事業に関する理解が深まるとともに、様々な意見が交わされました。	
今後の方向性	現状維持	「権利者の会」などでの権利者意見を踏まえて、都市計画の地区計画を定めます。また、引き続き、権利者の合意形成に取り組みます。

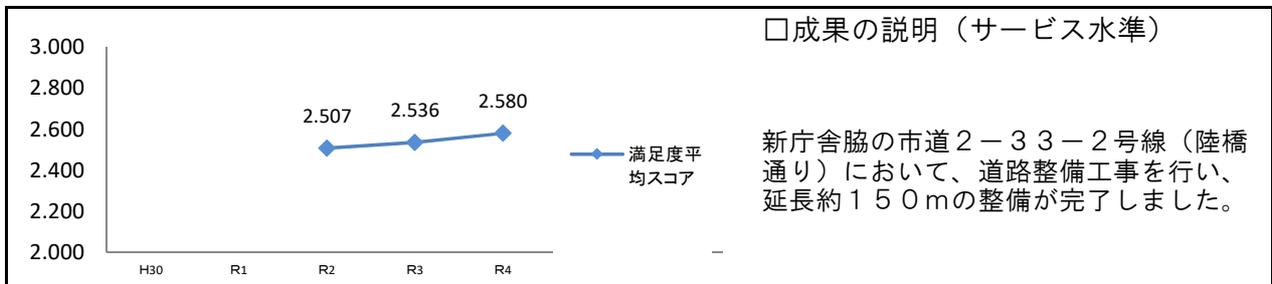
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

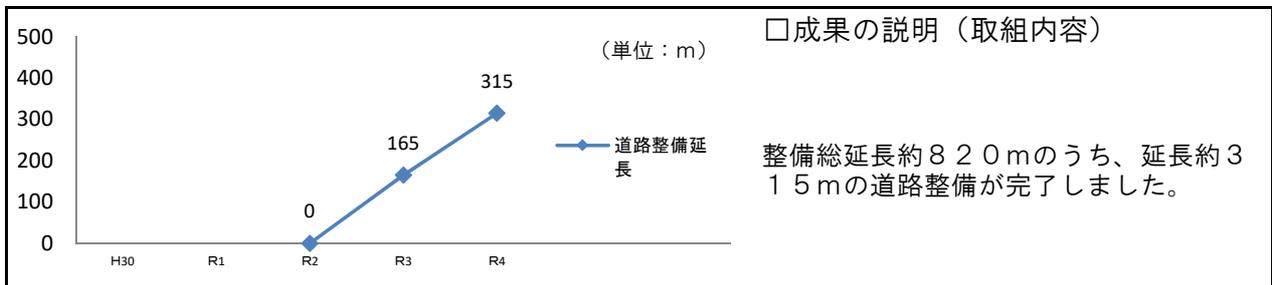
施策番号	6-1-1	実施計画No.	147	重点プロジェクトNo.	②-69	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	春日部駅西口環境整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	都市計画道路武里内牧線（市役所通り）において、環境に配慮した自動車に頼らない回遊ネットワークの再整備を行うことで、春日部駅周辺地域の都市機能の再構築と持続可能な都市構造を推進します。					事業開始年度	令和2年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）					現状値	2.387 (令和元年度)	
現状と課題	春日部駅周辺地域は、近年、大型商業施設の撤退や郊外型商業施設の進出などの影響を受けて、にぎわいや活気が低下しているため、都市機能の再構築を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	2.387以上	2.387以上	2.387以上
成果指標の実績値	-	-	2.507	2.536	2.580
達成率	-	-	105.0%	106.2%	108.1%
決算額(千円)	-	-	21,580	134,213	59,874

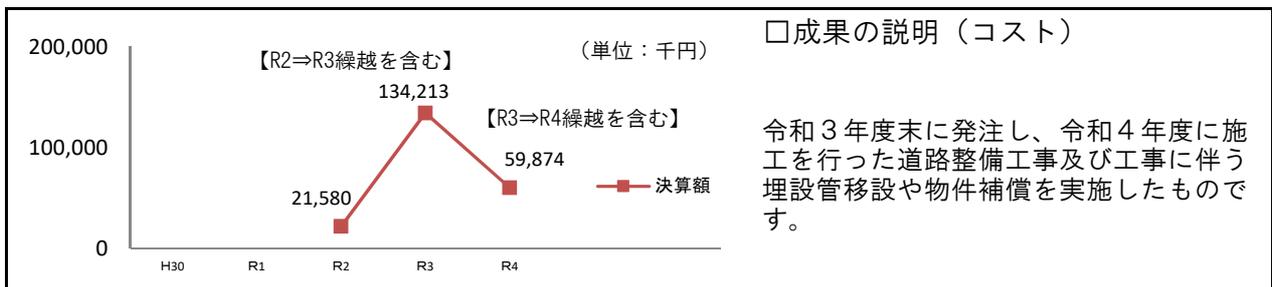
1 「魅力とにぎわいのある中心市街地の創出」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 道路整備延長



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	令和3年度から本格的に道路整備工事が開始され、都市計画道路武里内牧線（市役所通り）と市道2-33-2号線（陸橋通り）を合わせた整備総延長約820mのうち、延長約315m、進捗率で約38%の道路整備が計画通り完了しました。	
今後の 方向性	現状維持	魅力とにぎわいのある中心市街地の創出に向けて、計画的に道路整備工事を実施していきます。

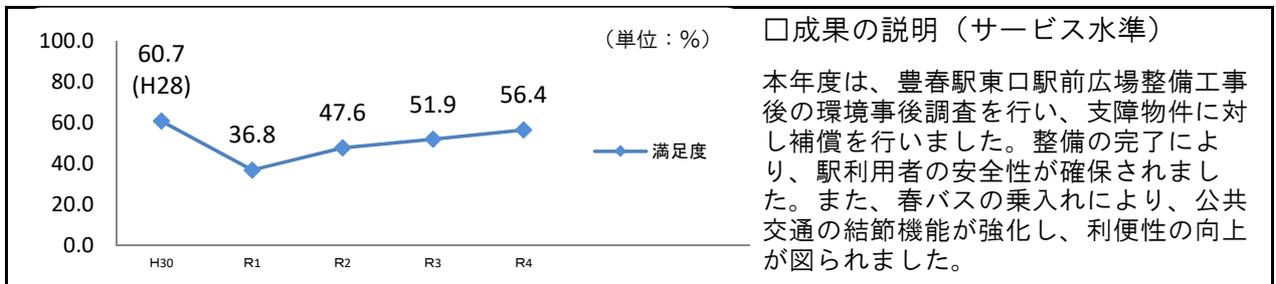
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

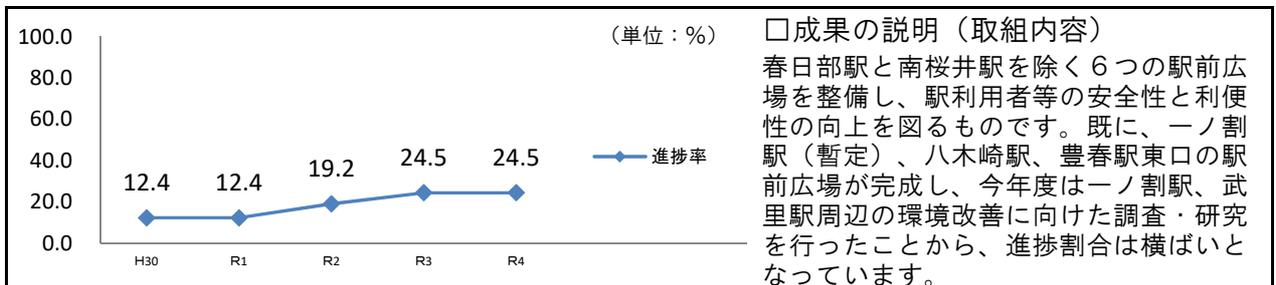
施策番号	6-1-2	実施計画No.	148	重点プロジェクトNo.	②-70	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	地域拠点駅まちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	鉄道駅周辺の都市基盤整備を実施します。					事業開始年度	平成26年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	60.7% (平成28年度)		
現状と課題	今後の社会情勢の変化に対応した持続可能な都市経営を図るため、安全で利便性の高い駅を中心とした新たなまちづくりが必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	62.4%	64.1%	65.8%	67.5%	69.2%
成果指標の実績値	-	36.8%	47.6%	51.9%	56.4%
達成率	-	57.4%	72.3%	76.9%	81.5%
決算額(千円)	28,537	47,936	138,123	91,753	8,436

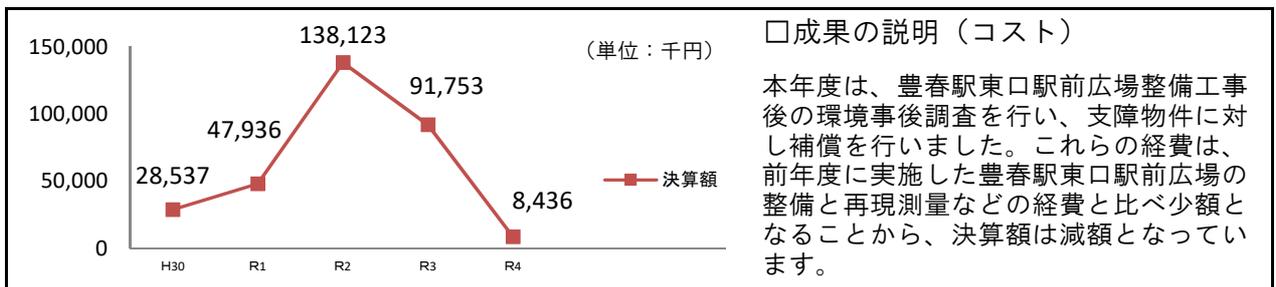
1 「安全で良好な市街地の形成」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 駅前広場（6駅）整備の進捗割合



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、豊春駅東口駅前広場整備工事後の環境事後調査を行い、支障物件に対し補償を行いました。また、一ノ割駅、武里駅周辺の環境改善に向けた調査・研究を行いました。この取り組みにより、駅利用者の安全性と地域拠点としての駅周辺の利便性を向上させ、鉄道駅を中心とした市街地の形成と公共交通によりネットワーク化されたコンパクトなまちづくりが推進できたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後の少子高齢化やアフターコロナといった社会情勢の変化を見据え、誰もが歩いて暮らせる持続可能なまちを目指し、鉄道駅を中心とした市街地の形成と、これらを公共交通で結ぶネットワークによる連携したまちづくりを目指します。令和5年度は交通拠点整備事業を立上げ、鉄道駅周辺における各種交通機関との乗り継ぎや交通動線の円滑化を図るとともに、一ノ割駅周辺の道路路上にある電柱を移設し、道路幅員を確保するといった環境改善に取り組めます。

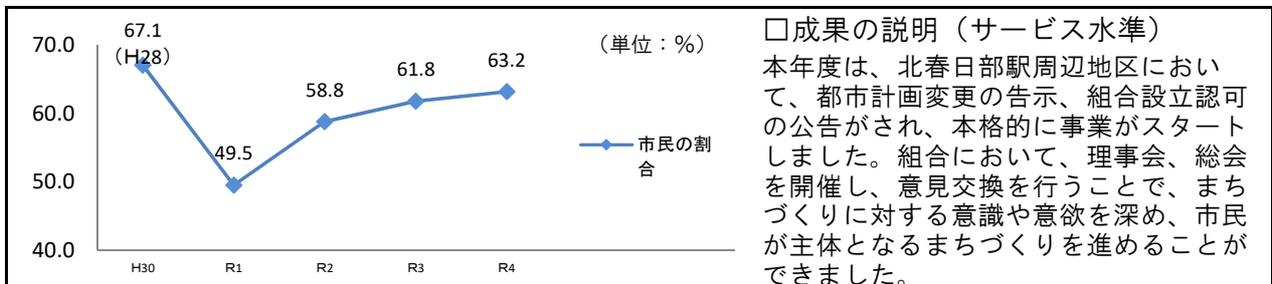
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

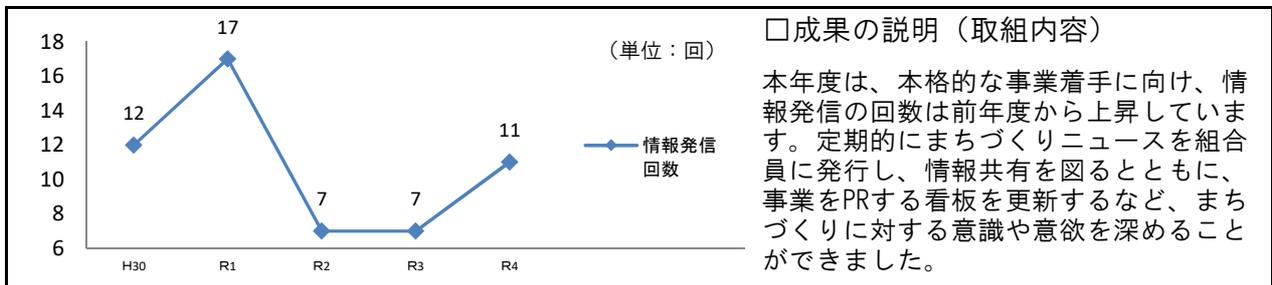
施策番号	6-1-3	実施計画No.	149	重点プロジェクトNo.	②-71	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	北春日部駅周辺地区のまちづくり事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	地元組織とともに選ばれる魅力的なにぎわいのあるまちを目指して、計画的な土地利用や環境整備に協働して取り組みます。					事業開始年度	平成27年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	全国的に住宅や店舗などの郊外立地が進み、市街地が拡散し、市街化区域の低密度化による市民サービス、都市インフラの維持に支障がでることが懸念されます。このため、駅を中心とした集約された公共性と効率性のバランスのとれたまちづくりが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	63.2%
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	89.5%
決算額(千円)	117,327	26,350	62,097	2,597	557

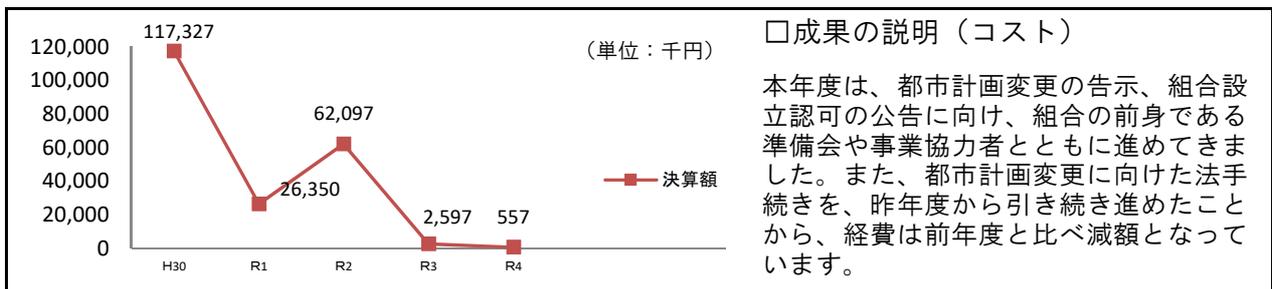
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 北春日部駅周辺地区土地区画整理に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、北春日部駅周辺土地区画整理事業において、役員会10回及び総会3回の実施と、まちづくりニュース・意見集の発行やPR看板の更新など情報発信を行い、まちづくりに対する意識・意欲を深めることで、市民が主体となるまちづくりを進めることができました。また、都市計画変更の告示、組合設立認可の公告や、組合設立総会が盛大に執り行われ、組合と業務・事務代行契約が締結され、北春日部駅周辺地区土地区画整理事業が本格的にスタートしました。	
今後の 方向性	現状維持	北春日部駅周辺地区土地区画整理事業が着手されたことから、事業を計画的に推進できるよう、組合を支援していきます。今後は、市から組合に対し助成金を交付するとともに、用途地域の変更や、スマートシティ・スーパーシティといった新たな付加価値を持った『まち』を目指し、組合とともにまちづくり計画を進めてまいります。

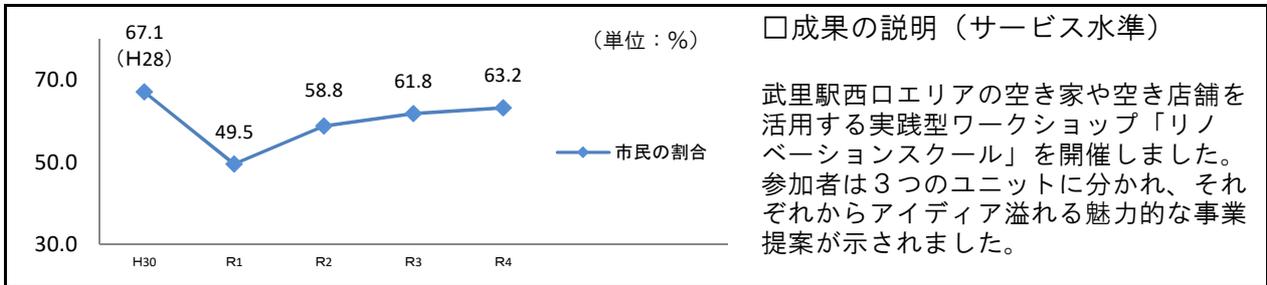
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

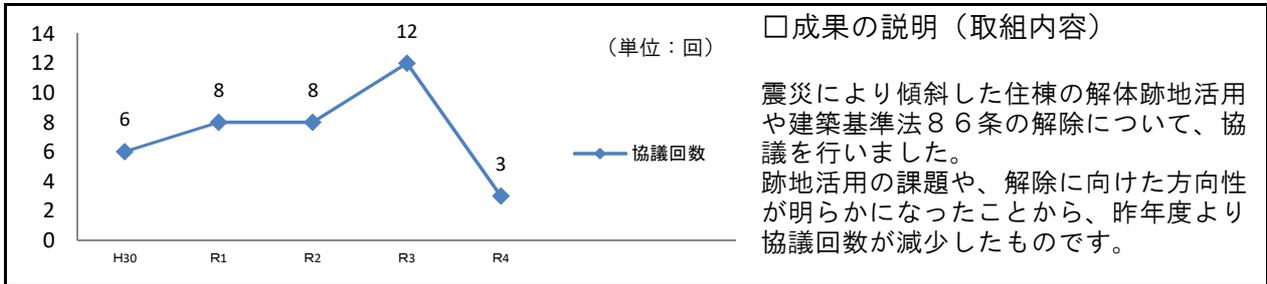
施策番号	6-1-3	実施計画No.	151	重点プロジェクトNo.	②-72	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	都市計画調査等事務					課名	都市計画課	
事業内容	駅を中心としたコンパクトで賑わいのあるまちづくりを実現するため、UR都市機構と連携し、武里団地のリノベーションを推進します。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	67.1% (平成28年度)	
現状と課題	武里駅周辺及び武里団地においては、人口減少や高齢者率の増加により、地域の賑わい低下が課題となっています。UR都市機構や地域住民と連携し、地区の魅力を高める取組が必要です。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	67.8%	68.5%	69.2%	69.9%	70.6%
成果指標の実績値	-	49.5%	58.8%	61.8%	63.2%
達成率	-	72.3%	85.0%	88.4%	89.5%
決算額(千円)	1,242	770	2,618	11,926	8,709

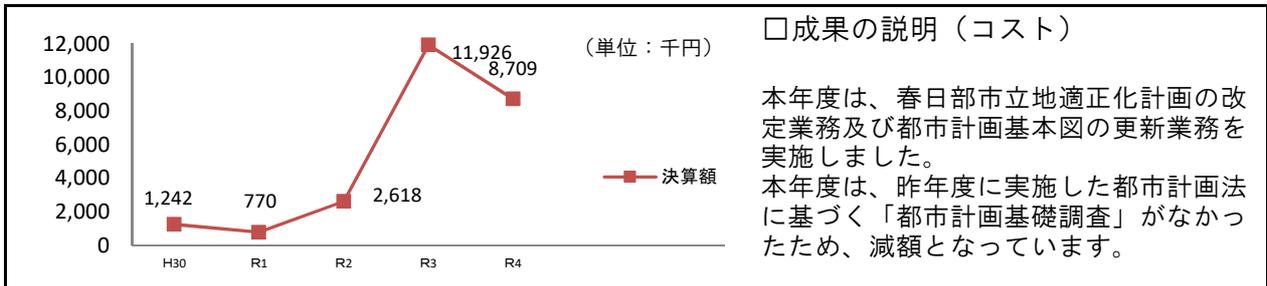
1 「市民が主体となったまちづくりの推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2. UR都市機構との協議回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	武里団地内の土地利用を円滑に進めるため、UR都市機構や5街区管理組合と連携し、建築基準法86条の解除について検討を進め、方向性が明らかになりました。また、武里駅西口エリアにおいては、リノベーションスクールを開催し、駅周辺の魅力向上に取り組みました。	
今後の 方向性	現状維持	令和5年度についても、武里駅西口エリアでリノベーションスクールを開催します。武里団地をはじめ、市内外から多くの方が訪れる、武里駅周辺の魅力づくりを推進します。

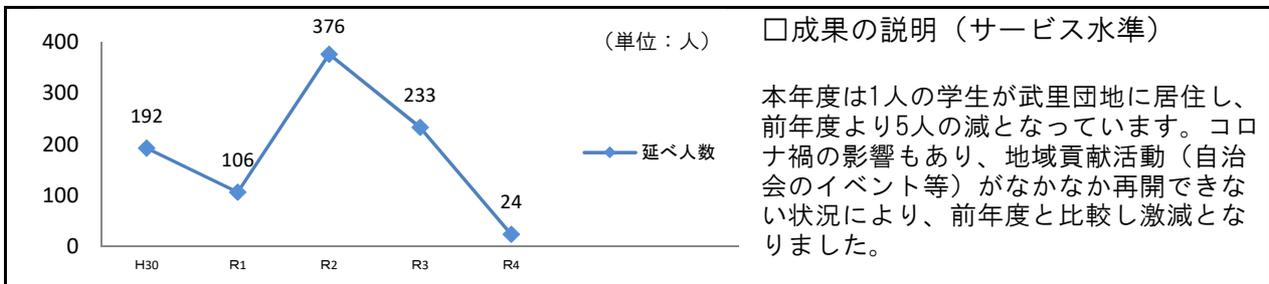
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

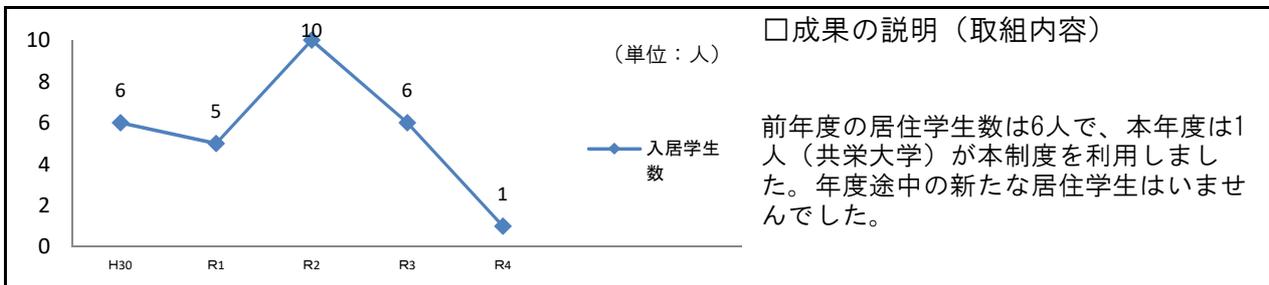
施策番号	6-1-3	実施計画No.	152	重点プロジェクトNo.	②-73	-	補助金No.	3
事業名 (補助金名)	官学連携団地活性化推進事業助成補助金					課名	政策課	
事業内容	武里団地居住者を対象に地域貢献をする学生の在籍する大学等に対し、武里団地に居住するための家賃および大学等までの交通費の一部を助成します。					事業開始年度	平成23年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	地域貢献活動を行った学生の延べ人数				現状値 (平成29年度)	173人		
現状と課題	武里団地は、市内の他の地域と比較し、人口減少、高齢化が進んでいることもあり、地域で新たなにぎわいを創出し、入居者の促進を図ることが求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	198人	224人	249人	275人	300人
成果指標の実績値	192人	106人	376人	233人	24人
達成率	97.0%	47.3%	151.0%	84.7%	8.0%
決算額(千円)	620	436	1,082	769	128

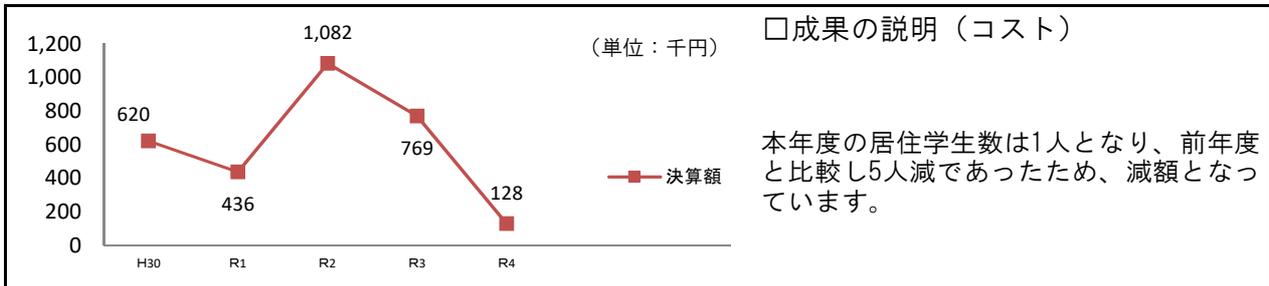
1 地域貢献活動を行った学生の延べ人数



2 武里団地入居学生数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は前年度比5人減の1人が居住しました。コロナ禍の影響もあり、地域貢献活動（自治会のイベント等）がなかなか再開できない状況で、徐々に居住する学生も減少しています。そのような状況の中でも、公民館事業でのスタッフとして協力するなどの地域貢献活動を行いました。	
今後の方向性	縮小	平成23年度からスタートし10年以上が経過しましたが、徐々に居住する学生が減少し、新型コロナウイルスの影響で地域貢献活動（自治会のイベント等）がなかなか再開できない状況です。こうした要因が重なり、令和4年度の居住学生数は1人となり、その1人も3月で卒業となり、居住学生がいなくなりました。以上のことから、令和4年度をもって本事業を廃止しました。

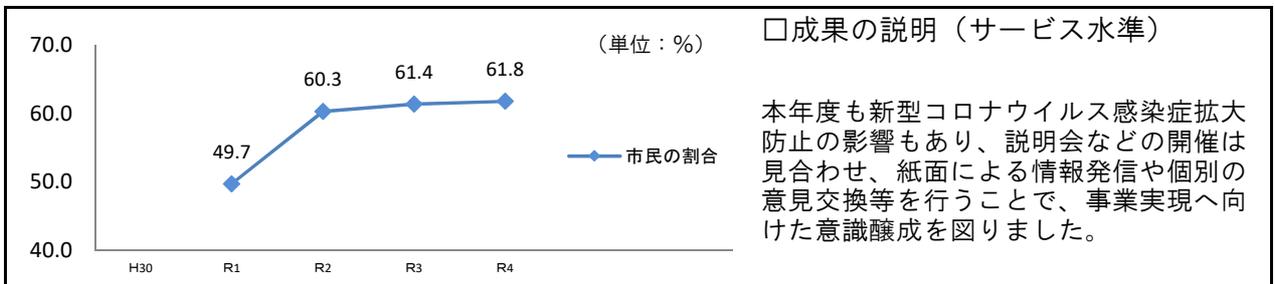
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

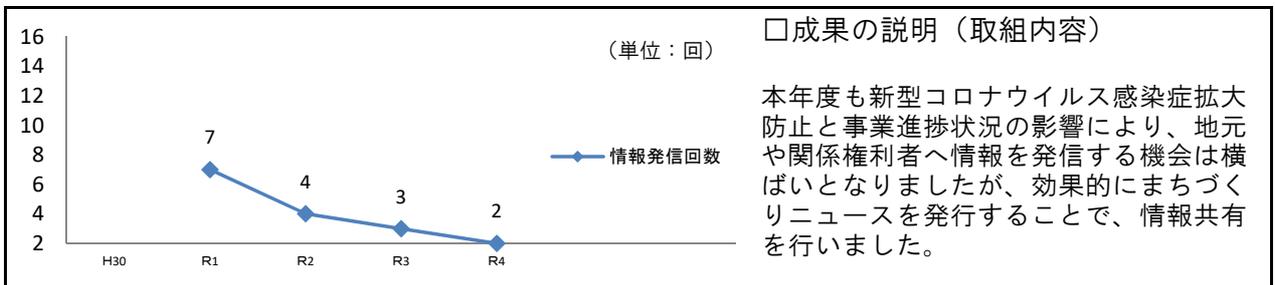
施策番号	6-2-1	実施計画No.	154	重点プロジェクトNo.	②-74	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	産業基盤整備事業					課名	まちづくり推進課	
事業内容	新たな産業集積を図り、計画的な土地利用を推進するため、赤沼・銚子口地区において豊野工業団地の拡張による産業団地整備を推進します。					事業開始年度	令和元年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）				現状値 (平成28年度)	61.2%		
現状と課題	人口が減少傾向にある中、持続・発展・躍進し続けるまちを促進するため、職と住居が近接した利便性の高いまちづくりが求められています。このため、交通利便性を生かした新たな産業拠点の形成を図ることが必要となります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	67.6%	70.7%	73.9%	77.1%
成果指標の実績値	-	49.7%	60.3%	61.4%	61.8%
達成率	-	73.5%	85.3%	83.1%	80.2%
決算額(千円)	-	7,893	14,633	17,270	9,471

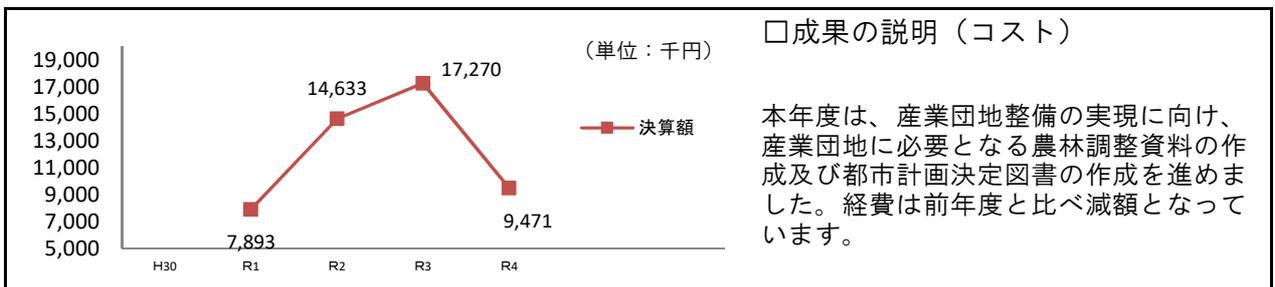
1 「計画的な土地利用の推進」に満足している市民の割合（市民意識調査）



2 赤沼・銚子口地区産業基盤整備に関する情報発信回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、地権者や権利関係者に対し、紙面での情報発信や個別意見交換等を効果的に行うことで、事業実現へ向けた更なる意識醸成を図りました。また、産業団地に必要となる農林調整資料の作成や都市計画決定図書の作成を進めたことから、産業団地整備の実現に近づいたものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	引き続き、事業の実現に必要な調整等を進めていくとともに、地権者の皆様から土地及び物件移転等に同意することを明記した合意書取得に向けた準備を進めていきます。

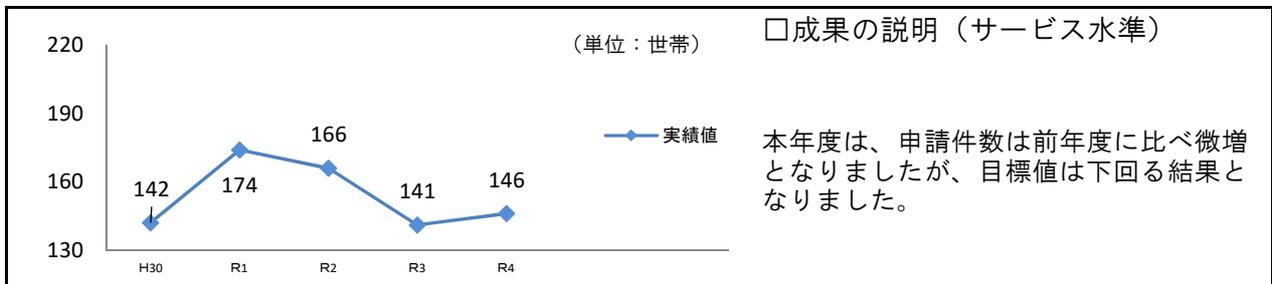
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

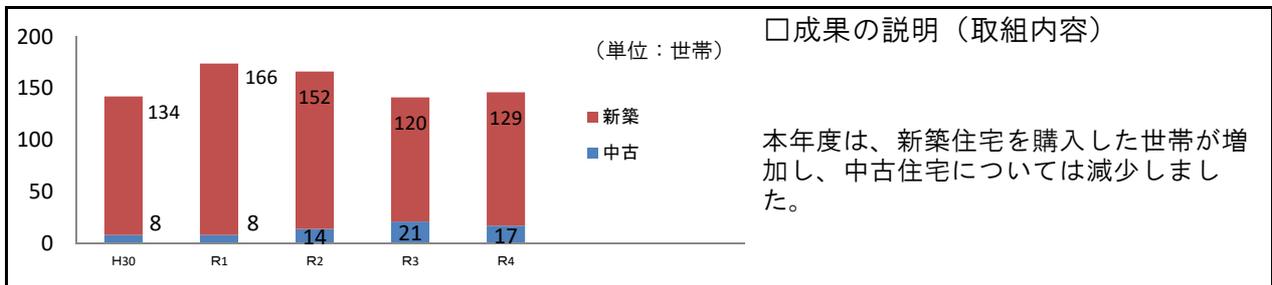
施策番号	6-2-2	実施計画No.	155	重点プロジェクトNo.	①-49	②-75	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	ふれあい家族住宅購入奨励事業					課名	住宅政策課		
事業内容	親世帯と近くに居住するために初めて住宅を取得した子世帯に対し、諸要件を満たした場合に登記費用の一部を支援することで、地域の活性化・定住の促進を図ります。					事業開始年度	平成23年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	三世代近居をはじめた世帯／年度					現状値 (平成29年度)	195世帯		
現状と課題	申請者の市外からの転入を、いかに増加させるかが課題となっています。また、申請者のうち中古住宅購入者の割合が全体から見て低いため、中古住宅の一層の利用促進を図ることが課題となっています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	196世帯	197世帯	198世帯	199世帯	200世帯
成果指標の実績値	142世帯	174世帯	166世帯	141世帯	146世帯
達成率	72.4%	88.3%	83.8%	70.9%	73.0%
決算額(千円)	23,894	32,130	32,671	25,945	29,366

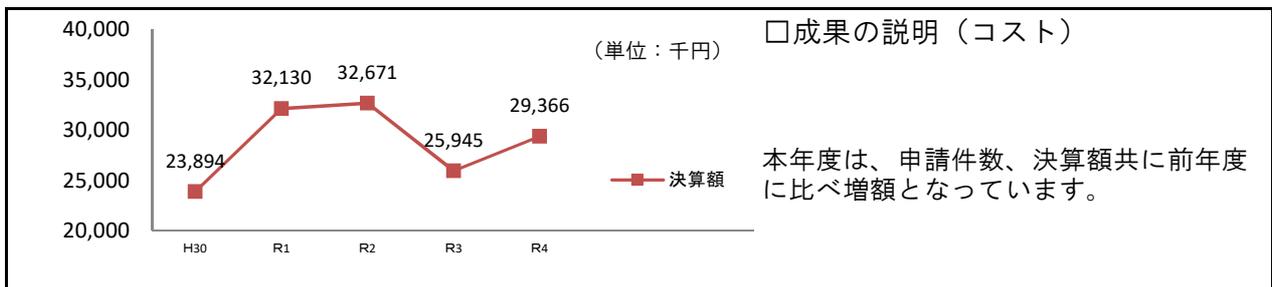
1 三世代近居をはじめた世帯／年度



2 新築住宅・中古住宅を購入した世帯／年度



3 決算額の推移



令和4年度の評価 本年度は、交付件数は146件と前年度より増加しましたが、目標値（200件）を下回る結果となりました。中古住宅の購入については減少となったことから、より一層、定住の促進及び地域の活性化を図るため、効果的かつ幅広い周知を展開していきます。

今後の方向性 現状維持 市外からの転入割合や中古住宅を購入した世帯の増加を図るため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる定住の促進・地域の活性化を図っていきます。

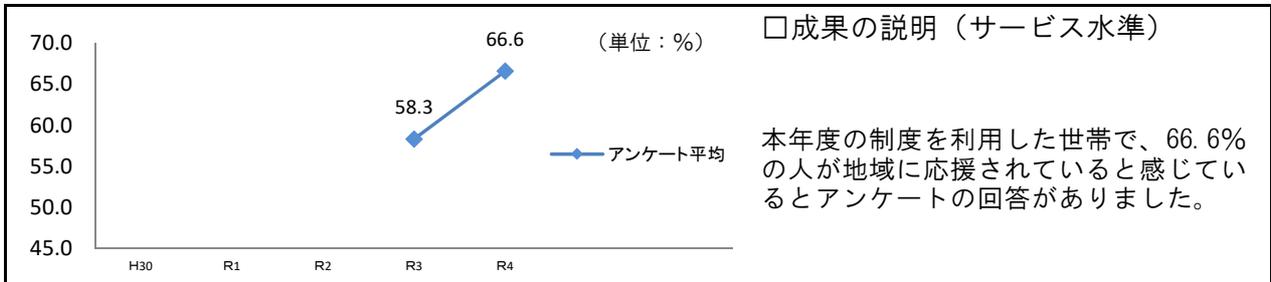
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

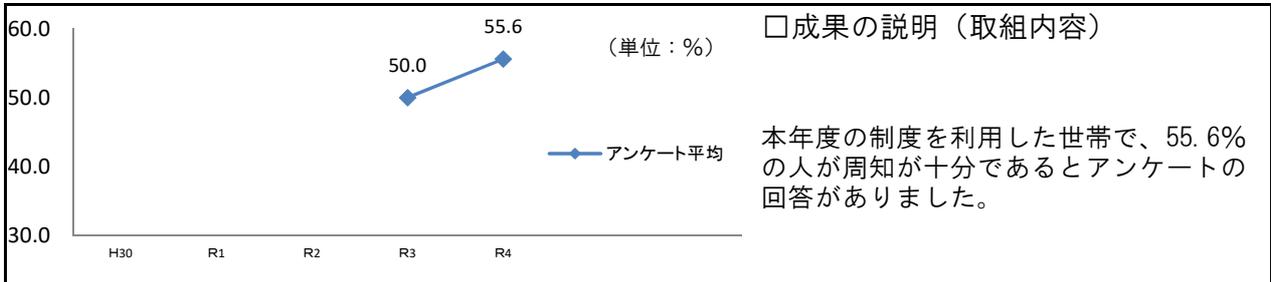
施策番号	6-2-2	実施計画No.	156	重点プロジェクトNo.	②-76	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	結婚新生活支援事業					課名	住宅政策課	
事業内容	婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、少子化対策の強化、移住の促進をはかります。					事業開始年度	令和3年度	
						事業見直し年度	-	
成果指標	地域に応援されていると感じた世帯の割合					現状値 (令和2年度)	-	
現状と課題	春日部市の人口動態は出生数が年々減少しているのに対し、死亡者数は高齢化とともに年々増加し、総人口をみると2003年以降減少傾向となっています。そのため、従来の施策をさらに充実させ、一人ひとりの多様なニーズに応えるための妊娠・出産・子育て切れ目ない支援を実施し、少子化対策の強化、移住の促進を図る必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	-	70.0%	80.0%
成果指標の実績値	-	-	-	58.3%	66.6%
達成率	-	-	-	83.3%	83.3%
決算額(千円)	-	-	-	3,148	1,762

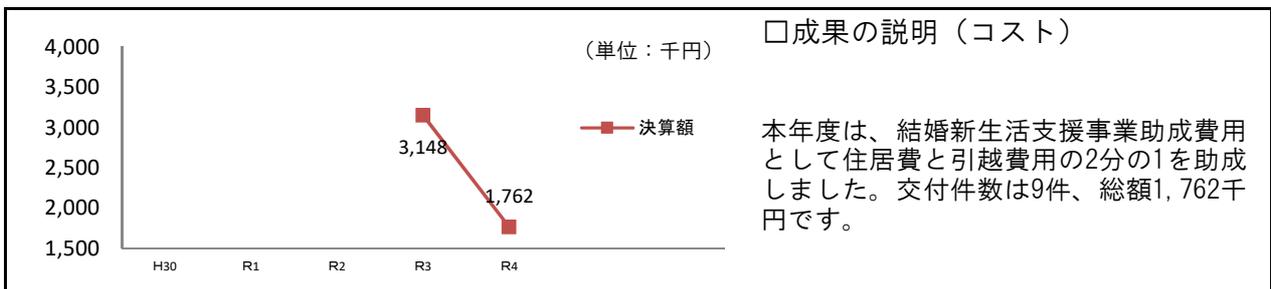
1 地域に応援されていると感じた世帯の割合



2 結婚新生活支援事業の認知度



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本市の結婚新生活支援事業は、令和3年4月からスタートしました。婚姻に伴う新生活を経済的に支援することにより、結婚や子育てについての希望をかなえることができる環境をつくり、本市における少子化対策の強化及び市への移住促進するため、効果的で幅広い周知を展開し、事業の推進を図っていきます。	
今後の 方向性	現状維持	本市における結婚や子育てについての環境づくりのため、制度の利用を促進し、市公式SNS等の活用により効果的なPRを実施することで、更なる少子化対策の強化及び市への移住促進を図っていきます。

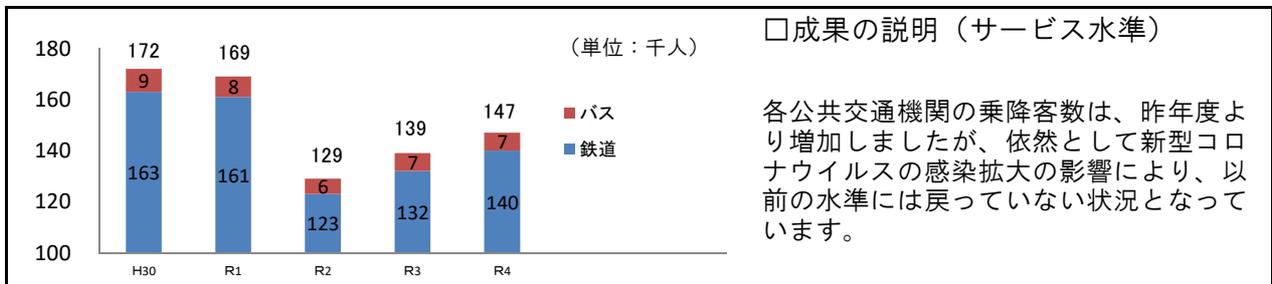
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

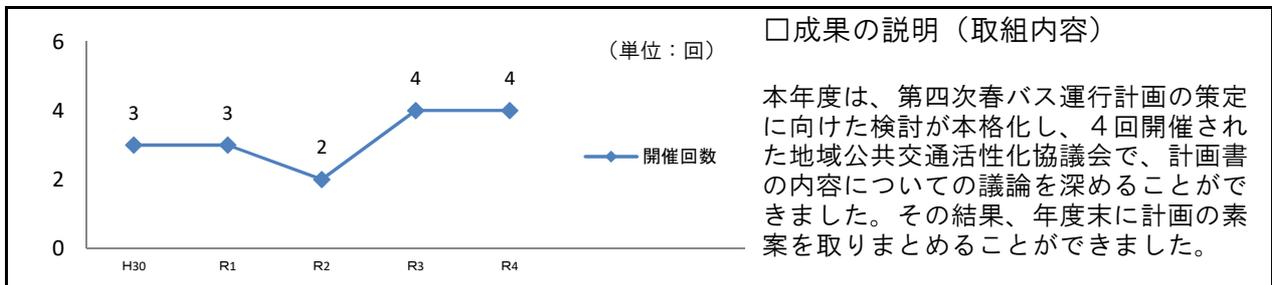
施策番号	6-3-1	実施計画No.	158	重点プロジェクトNo.	②-77	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	コミュニティバス運行事業					課名	都市計画課	
事業内容	市民の交流を促進するとともに、主要公共施設等への交通手段の確保および中心市街地へのアクセスを向上させるため、コミュニティバスを運行します。					事業開始年度	平成19年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数					現状値 (平成29年度)	172,000人	
現状と課題	近年の社会情勢の変化等に対応した地域の移動手段の確保が求められているとともに、新型コロナウイルス感染拡大による公共交通への影響に対する対策や、アフターコロナにおける持続可能な公共交通ネットワークの形成が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	147,000人
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	85.5%
決算額(千円)	61,519	61,296	70,952	60,819	56,818

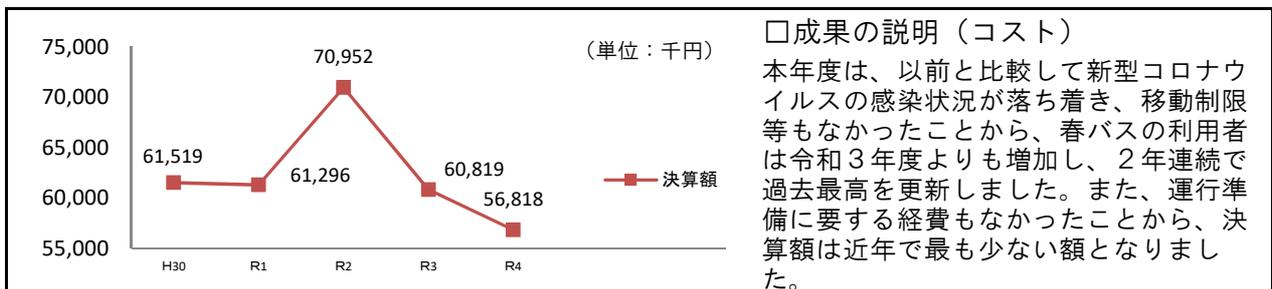
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 春日部市地域公共交通活性化協議会開催回数



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は、新型コロナウイルスによる移動制限等がなかったことから、各公共交通機関の乗降客数は持ち直しの動きが見られました。春バスの利用者数も第三次運行の中では、2年連続で過去最高を記録することになりました。そのような中、第四次春バス運行計画の策定に向け、地域公共交通活性化協議会における協議を通じて、計画の素案を取りまとめることができ、令和5年度中の計画策定及び新ルートでの運行開始に向けた道筋をつけることができたと考えています。	
今後の 方向性	見直し	「地域公共交通計画」に定めた施策を着実に進めるとともに、春バスのより効率的で利便性の高いルート・ダイヤの設定だけでなく、公共交通事業者と連携したタクシーを活用した新たな制度の導入や、路線バスとの乗り継ぎ割引の対象路線拡大による、公共交通ネットワークの強化と合わせた第四次春バス運行計画の策定を行ってまいります。

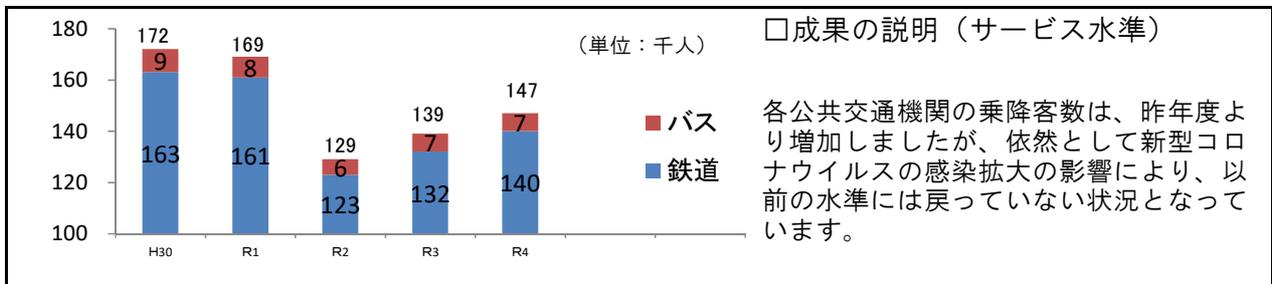
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

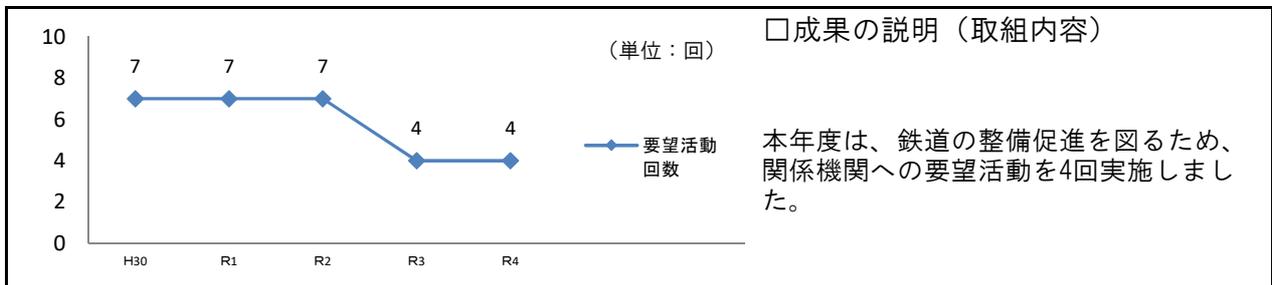
施策番号	6-3-1	実施計画No.	159	重点プロジェクトNo.	②-78	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	鉄道整備促進事業					課名	鉄道高架推進課	
事業内容	沿線地域市町、国、県および鉄道事業者の協力体制により、既設線を利用した相互直通運転など、広域的な鉄道ネットワークの充実や、鉄道の高架化や複線化などの輸送力増強について整備促進に努めます。					事業開始年度	平成24年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	鉄道・バスの1日平均乗降客数				現状値 (平成29年度)	172,000人		
現状と課題	東武スカイツリーライン及びアーバンパークラインは春日部駅で結束し、駅は市内に8駅あります。鉄道路線は交通手段として重要な役割を担っており、公共交通機関の利用を促進するとともに、関係機関に対し、利便性の向上および輸送力の増強を働きかけていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人	172,000人
成果指標の実績値	172,000人	169,000人	129,000人	139,000人	147,000人
達成率	100.0%	98.3%	75.0%	80.8%	85.5%
決算額(千円)	46	44	38	49	46

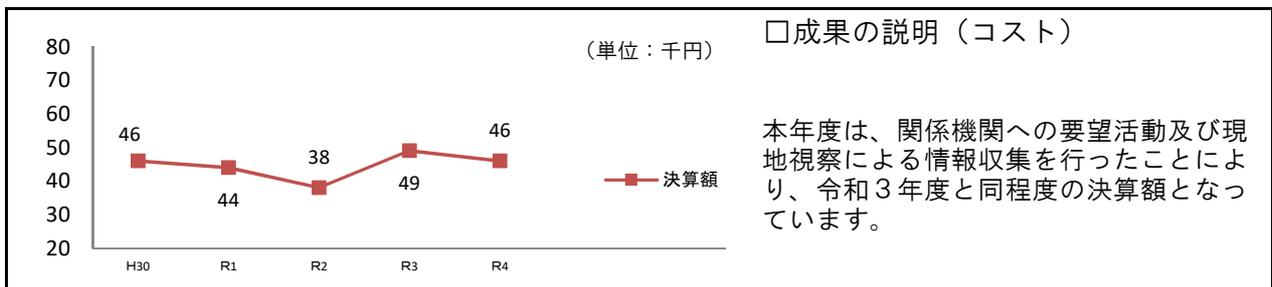
1 鉄道・バスの1日平均乗降客数



2 関係機関（県、鉄道事業者）への要望活動回数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、春日部駅東口仮駅舎の供用開始等、利便性の向上や輸送力の増強を含む春日部付近連続立体交差事業が順調に進んだほか、駅施設の改善や広域的な鉄道ネットワークの充実に向け、気運醸成を図ることができました。	
今後の方向性	現状維持	要望活動の取組などにより、春日部駅付近連続立体交差事業が目に見える形で進行し続けており、駅施設の改善に向け着実に進んでいます。引き続き、関係機関と連携を図りながら、要望活動を実施していきます。

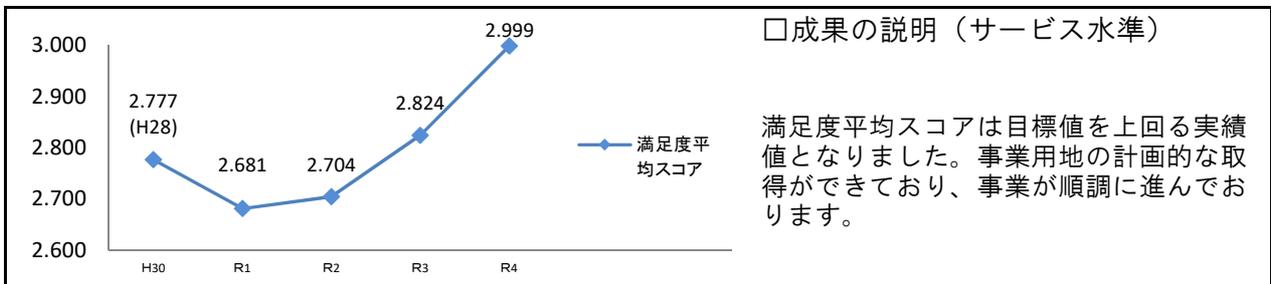
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

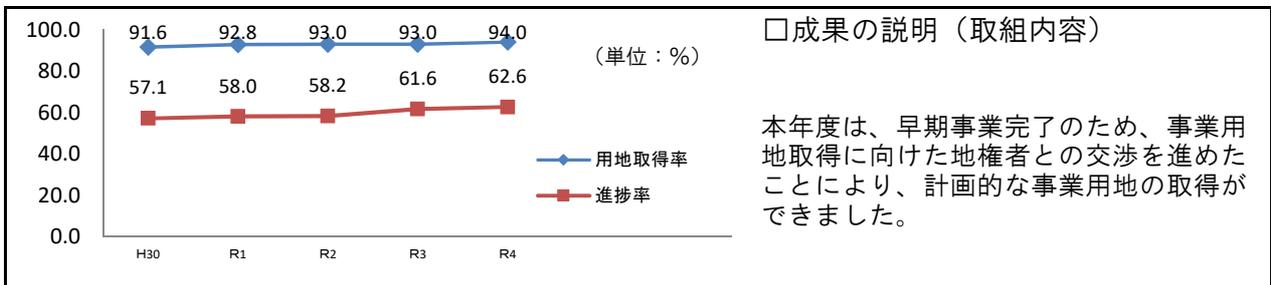
施策番号	6-4-1	実施計画No.	160	重点プロジェクトNo.	②-79	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	武里内牧線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	武里内牧線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成17年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	武里地区と内牧地区を結ぶ交通の円滑化を図るため、武里内牧線の早期完成が求められています。また、当該路線は、国の社会資本整備総合交付金を受けて整備を行っており、事業推進のためにも安定した財源の確保が必要となっております。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	64,214	39,417	24,802	141,117	39,103

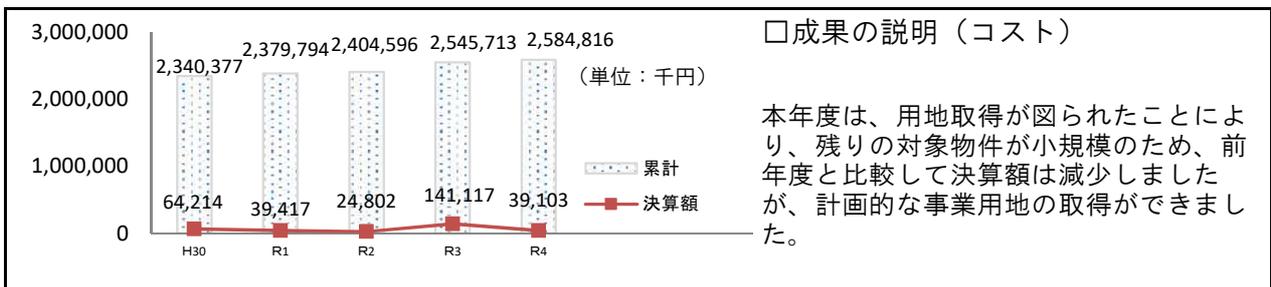
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 武里内牧線の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、計画的な事業用地の取得が出来たことにより、武里内牧線の事業が推進したものと考えています。引き続き、広域的な道路ネットワークの形成及び春日部市内の都市内交通の円滑化を図るため、計画的な事業用地の取得を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、武里内牧線の早期完成に向けて取り組んでいきます。

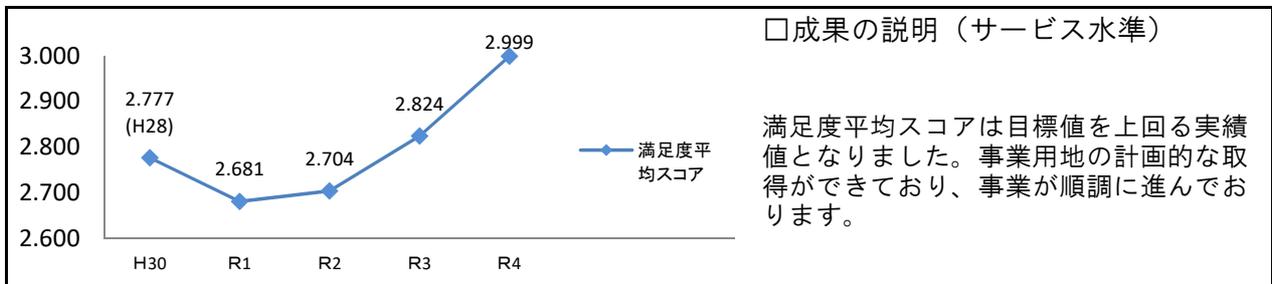
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

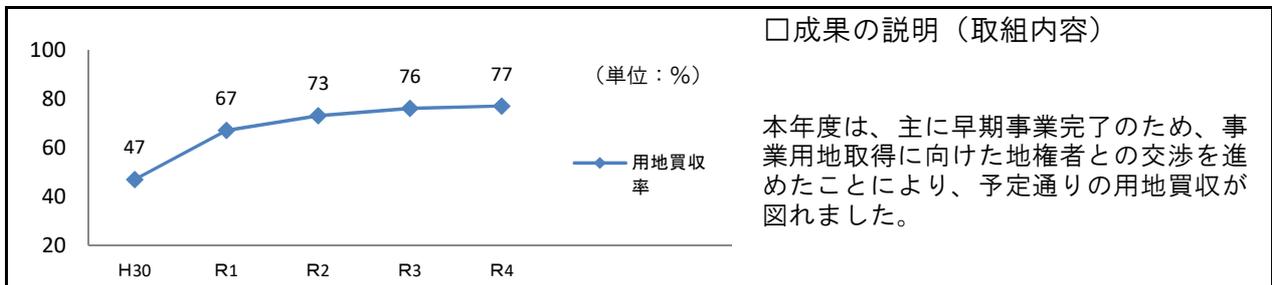
施策番号	6-4-1	実施計画No.	162	重点プロジェクトNo.	②-80	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	中央通り線整備事業					課名	道路建設課	
事業内容	中央通り線の未整備区間について整備を行います。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）				現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図るため、中央通り線の早期完成が求められています。市民の活動範囲の広域化と車社会の進展に伴い、道路の役割は重要であり、都市機能向上のために必要な幹線道路（中央通り線）の整備を推進します。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	170,039	357,009	108,363	579,914	91,947

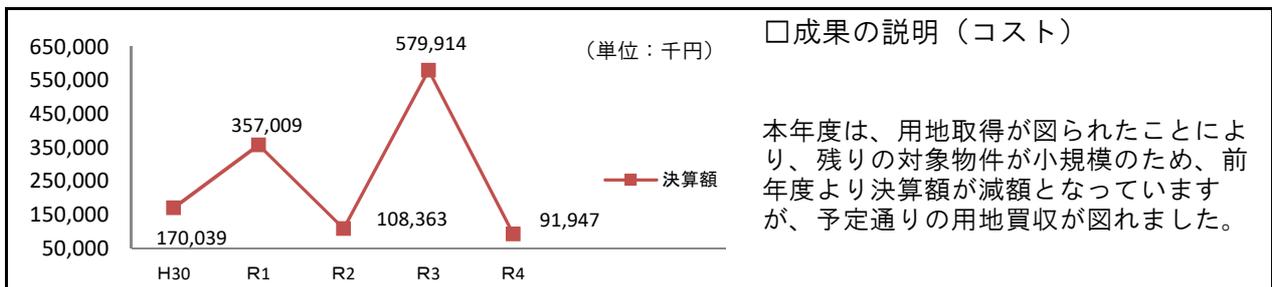
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 中央通り線の整備の用地買収率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、予定通りの用地買収が図られたこと、電線共同溝予備設計を実施したことで、中央通り線の事業が推進したものと考えています。引き続き、春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図るため、計画的な事業用地の取得を行っていきます。	
今後の方向性	現状維持	用地買収が予定どおり進んでいることなど、早期完成に向け、都市計画道路中央通り線の整備が推進されており、引き続き、地元地権者等のご協力や関係機関と連携を図りながら、早期完成に向けて取り組んでいきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

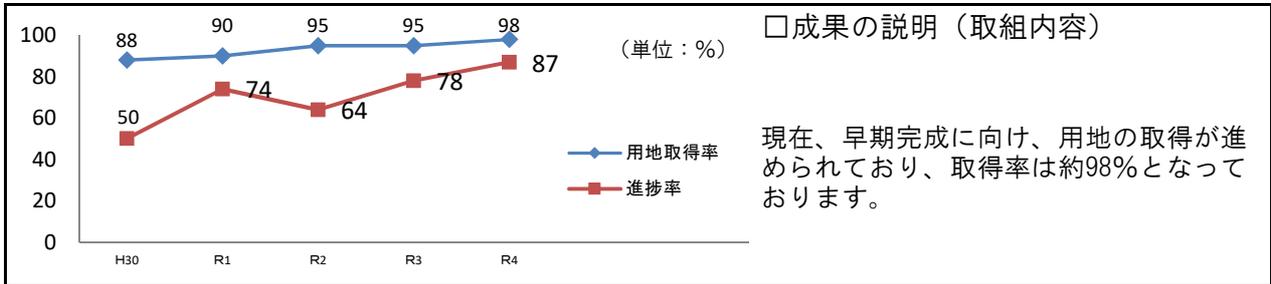
施策番号	6-4-1	実施計画No.	163	重点プロジェクトNo.	②-81	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	街路整備事務					課名	道路建設課		
事業内容	東埼玉道路について、事業主体である国土交通省に対して引き続き要望します。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）					現状値 (平成29年度)	2.777 (平成28年度)		
現状と課題	国道4号の渋滞緩和と周辺地域の開発に寄与する東埼玉道路の早期完成が求められています。そのため、事業主体である国土交通省及び関係機関に対し、東埼玉道路早期完成に向け要望を行っております。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上	2.777以上
成果指標の実績値	-	2.681	2.704	2.824	2.999
達成率	-	96.5%	97.4%	101.7%	108.0%
決算額(千円)	9,160	15,142	25,562	14,576	14,676

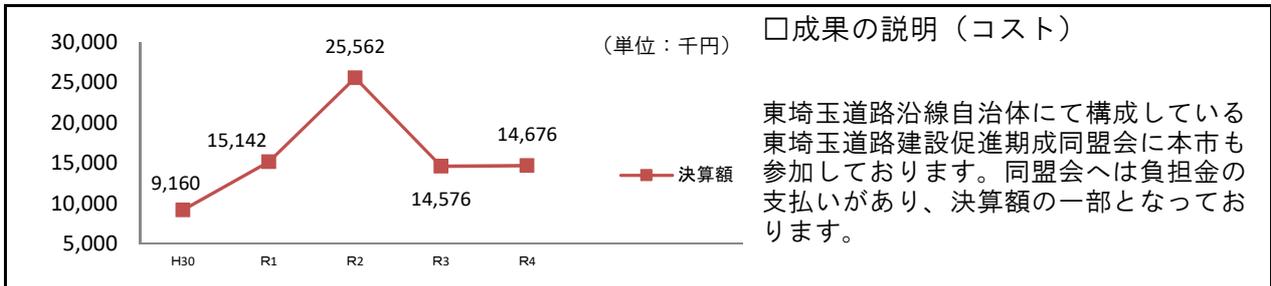
1 「円滑に移動できる幹線道路の整備」の満足度平均スコア（市民意識調査）



2 東埼玉道路の事業用地の取得率と進捗率の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、昨年同様に事業主体である国土交通省や関係機関に対し、建設促進の要望活動を行い、一般部の用地取得や工事が順調に進められました。また、自動車専用部の一部区間（八潮市から松伏町）が令和2年度に事業化され、工事や用地取得に着手したことから、東埼玉道路の整備促進が図られたと考えています。	
今後の方向性	現状維持	今後も、引き続き効果的で効率的な都市計画道路の整備を計画的に進めるため、東埼玉道路の早期完成に向けて取り組んでいきます。

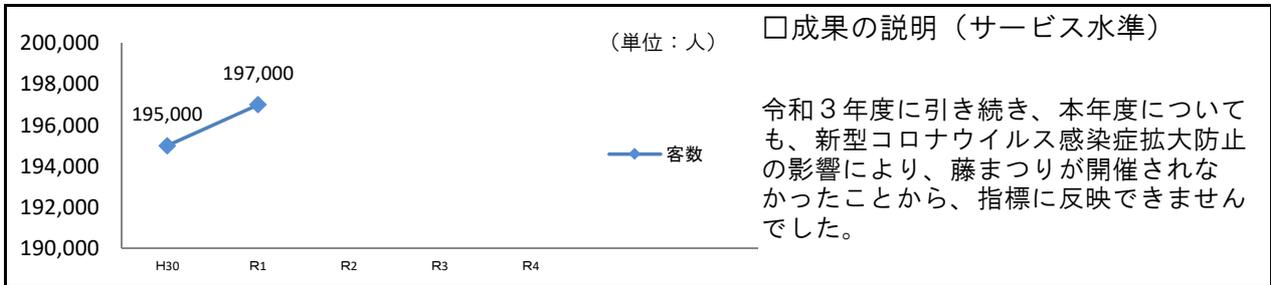
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

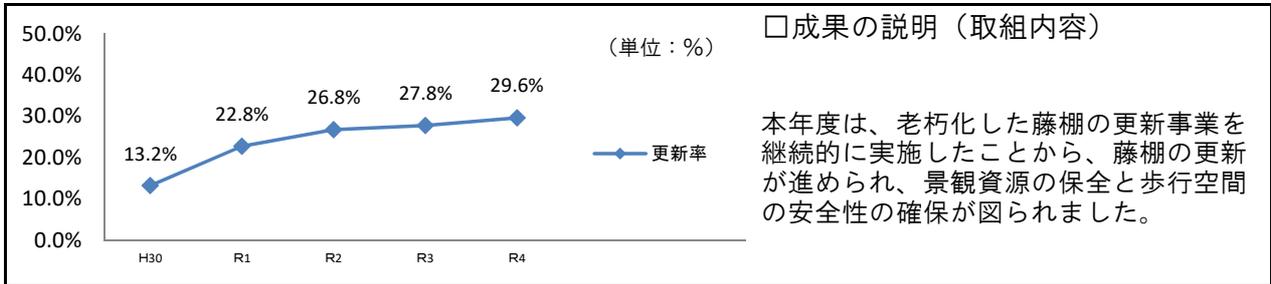
施策番号	6-4-1	実施計画No.	164	重点プロジェクトNo.	②-82	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	ふじ通り藤棚修景事業					課名	道路建設課	
事業内容	老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置するなど、市独自の取り組みを行っています。					事業開始年度	平成28年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	藤まつり観光入り込み客数					現状値 (平成29年度)	190,000人	
現状と課題	本市特有の景観資源であるふじ通りの藤棚は、設置後30年以上が経過し、劣化が進行していることから、藤棚の修景を行い、景観資源の保全、歩行空間の安全性確保が求められています。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上	190,000人以上
成果指標の実績値	195,000人	197,000人	—	—	—
達成率	102.6%	103.7%	—	—	—
決算額(千円)	37,336	72,375	29,835	9,438	20,812

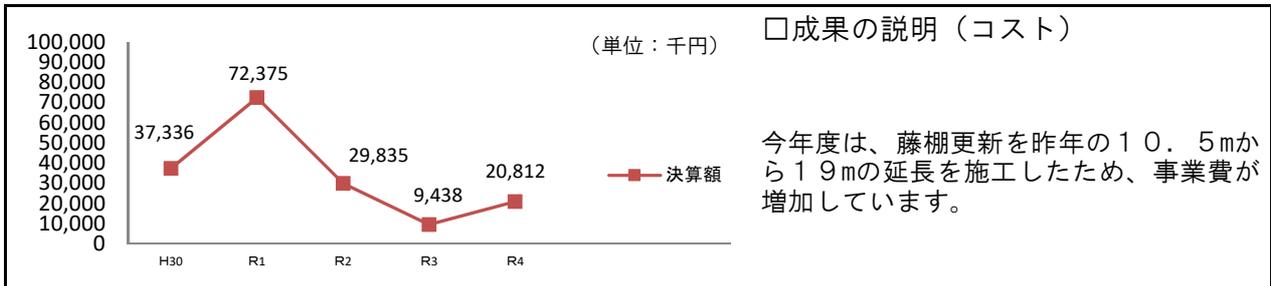
1 藤祭り観光入り込み客数推移



2 藤棚の更新率



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度も、老朽化した藤棚の改修を実施し、景観資源の保全と歩行空間の安全性を図るとともに、藤の窓口の設置、ふるさとかすかべ応援寄付金のお礼品として、ふじ通りに銘板を設置することで、景観資源の保全と歩行空間の安全性の確保及び地域活性化の向上に繋がったものと考えています。	
今後の方向性	現状維持	本事業は、平成31年度から国庫補助事業の対象外となったことから、今後については、国の動向に注視しつつ補助財源の確保や、より一層の経費縮減策についても検討を行いながら、引き続き事業を推進していきます。

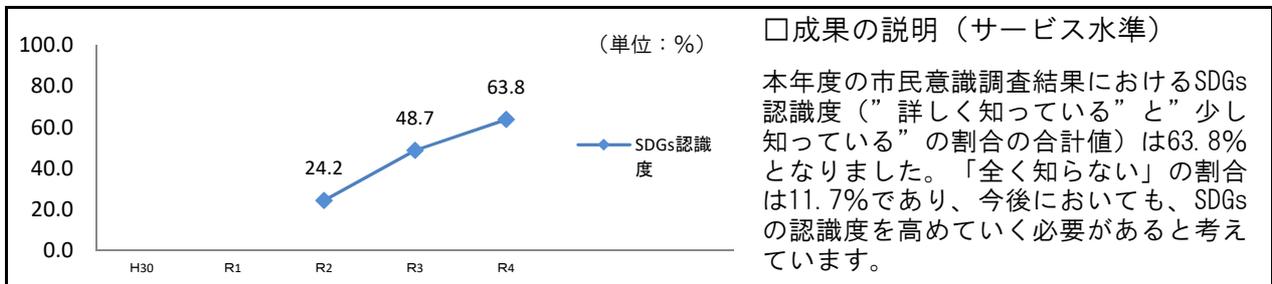
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

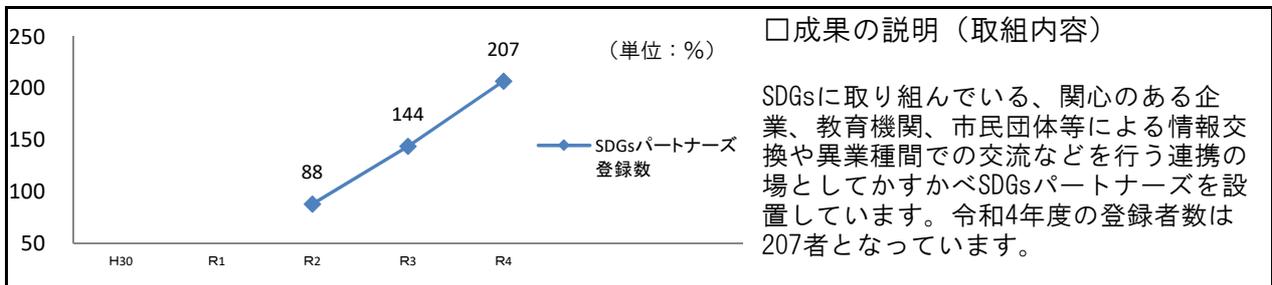
施策番号	7-1-1	実施計画No.	183	重点プロジェクトNo.	①-51 ②-83 ③-122	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	SDGs推進事業				課名	政策課	
事業内容	SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進するために、SDGsの理念の共有、理解に向けた情報発信・普及啓発に取り組みます。				事業開始年度	令和2年度	
					事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	SDGsの市民認識度				現状値 (令和元年度)	-	
現状と課題	SDGsを推進していくためには、市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs認知度を高める必要があります、SDGsの機運醸成を図ることが課題となっています。						

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	-	-	25.0%	40.0%	50.0%
成果指標の実績値	-	-	24.2%	48.7%	63.8%
達成率	-	-	96.8%	121.8%	127.6%
決算額(千円)	-	-	1,510	4,233	1,570

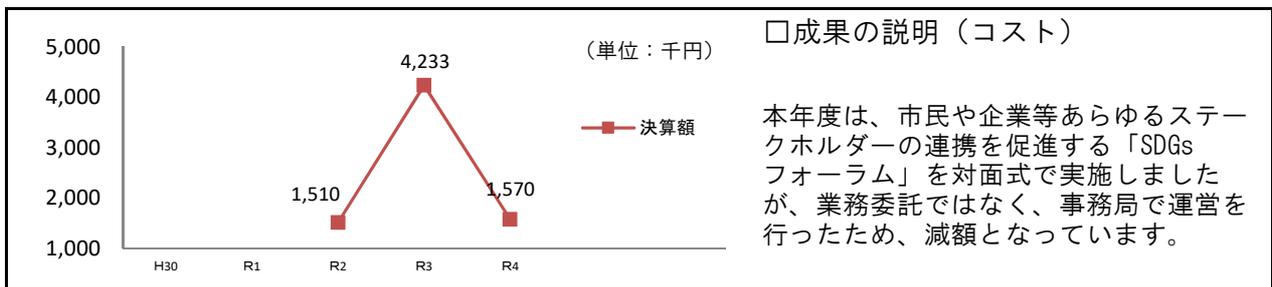
1 SDGs認知度



2 SDGsパートナーズ登録数



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、SDGs理解促進に向けた職員研修の実施やステークホルダー（企業等）の連携に向けた「SDGsパートナーズミーティング」の実施、また、市民一人ひとりのSDGs理解を目的とした講座「SDGsカフェ」の実施、さらに、市民や企業等あらゆるステークホルダーの連携を促進する機会とする「SDGsフォーラム」の実施などを通じ、SDGs理解促進に努めてきました。今後もSDGsの認知度の向上や機運醸成を図る必要があると考えます。	
今後の方向性	現状維持	今後も市民をはじめとするすべてのステークホルダーのSDGs機運醸成を図り、SDGsの理念を盛り込んだ持続可能なまちづくりを推進してまいります。

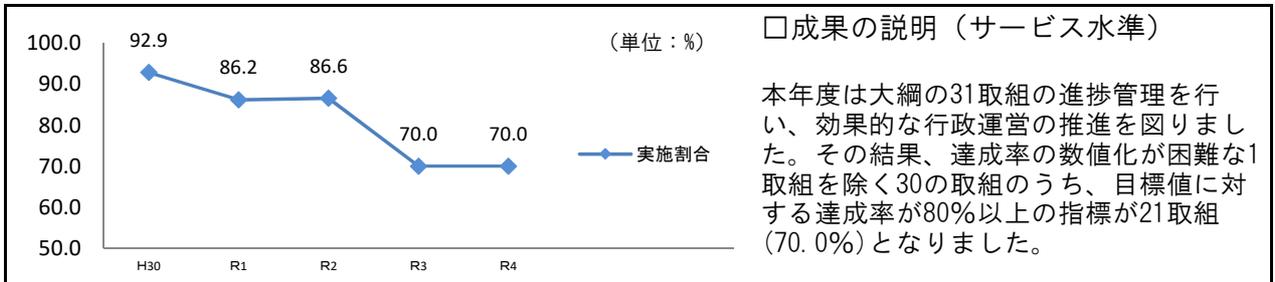
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

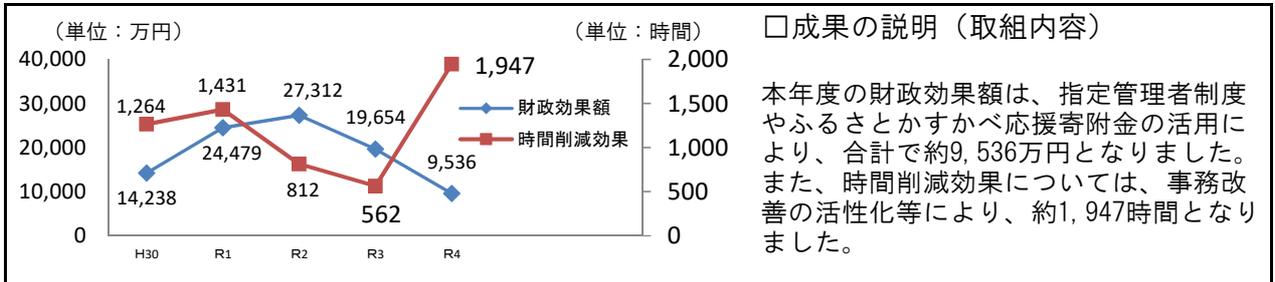
施策番号	7-1-1	実施計画No.	184	重点プロジェクトNo.	②-84	-	補助金No.	-	
事業名 (補助金名)	行政改革推進事業					課名	行政デジタル改革課		
事業内容	行政改革大綱の進行管理を行い、効果的な行政運営の推進を図ります。					事業開始年度	平成17年度		
						事業見直し年度	令和2年度		
成果指標	行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合					現状値 (平成29年度)	-		
現状と課題	第1次大綱、第2次大綱に基づく様々な行政改革の取組により、これまでも一定の成果を重ねてきましたが、今後、地方公共団体における経営資源の制約が強まる一方で、少子高齢化を背景とした行政需要は確実に増加することが見込まれることから、一層の取組の推進が求められています。								

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
成果指標の実績値	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	70.0%
達成率	92.9%	86.2%	86.6%	70.0%	70.0%
決算額(千円)	214	277	725	173	335

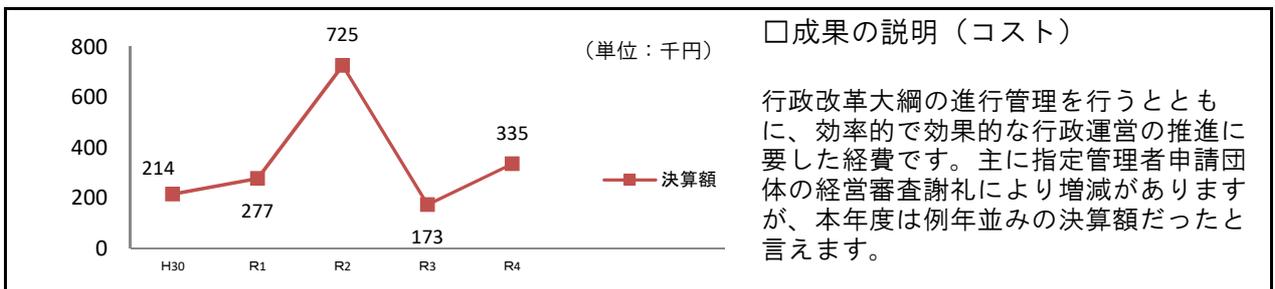
1 行政改革大綱に基づく取組項目の実施割合



2 行政改革大綱に基づく取組による財政効果等



3 決算額の推移



令和4年度の 評価	本年度は31の取組を推進し、財政効果や時間削減効果だけでなく、多様な活動主体との連携・協働など質の高い行政サービスが行われたことから、効果的な行政運営の推進が図られたものと考えています。	
今後の 方向性	現状維持	第3次行政改革大綱の最終年となる本年度は、31の取組により、財政効果や時間削減効果だけでなく、質の高い行政サービスを行うことができました。今後は、第4次行政改革大綱に基づき、時代の変化に対応しながら、行政改革に関する取組をより一層推進していきます。

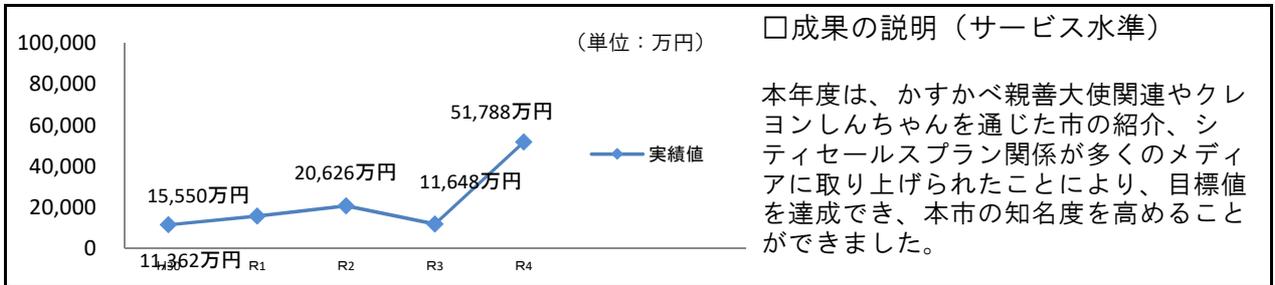
【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討

◆行政評価シート（第2次春日部市総合振興計画事業管理シート）

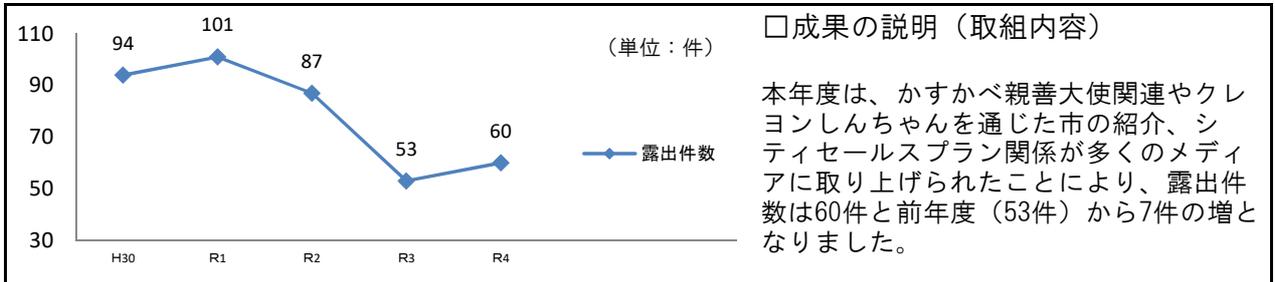
施策番号	7-1-3	実施計画No.	189	重点プロジェクトNo.	②-85	-	補助金No.	-
事業名 (補助金名)	シティセールス推進事業					課名	シティセールス広報課	
事業内容	本市の将来像や地域資源等を戦略的に情報発信することにより、本市の知名度を全国的に高めるとともに市のイメージアップを図ります。					事業開始年度	平成25年度	
						事業見直し年度	令和2年度	
成果指標	広告費換算金額				現状値 (平成29年度)	37,084万円		
現状と課題	本市には、世界的に有名なアニメキャラクターをはじめ、様々な地域ブランドとなる可能性を秘めた地域資源が存在していますが、それらを効果的・戦略的にシティセールスを展開し、まちの認知度向上及びイメージアップを図っていく必要があります。							

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果指標の目標値	9,400万円	10,800万円	12,200万円	13,600万円	15,000万円
成果指標の実績値	11,362万円	15,550万円	20,626万円	11,648万円	51,788万円
達成率	120.9%	144.0%	169.1%	85.6%	345.3%
決算額(千円)	13,882	24,870	22,987	18,608	17,023

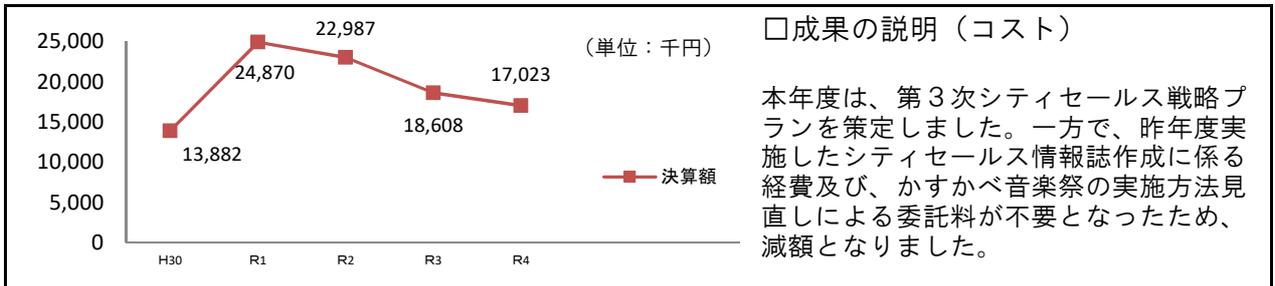
1 広告費換算金額の推移



2 メディアへの露出件数の推移



3 決算額の推移



令和4年度の評価	本年度は、かすかべ親善大使による市の紹介や、クレヨンしんちゃんを通じた市の紹介がテレビや新聞等で多く取り上げられた他、伝統工芸である麦わら帽子がテレビ番組で取り上げられたことにより広告換算費の増加につながり、効果的に市のPRができたものと考えております。	
今後の方向性	現状維持	本年度は、目標値を上回る結果となりましたが、今後も市のPRを多くのメディアに取り上げてもらい、次年度以降に設定している目標値を達成するために、前年に引き続き民間のリリース配信サービスの活用や情報提供のタイミング、リリースの文面や写真の配置等を意識して実施していきます。

【拡充】：予算・取組増の上で継続、【現状維持】：計画通り継続、【見直し】：改善の上で継続、【縮小】：縮小・休止・廃止を検討